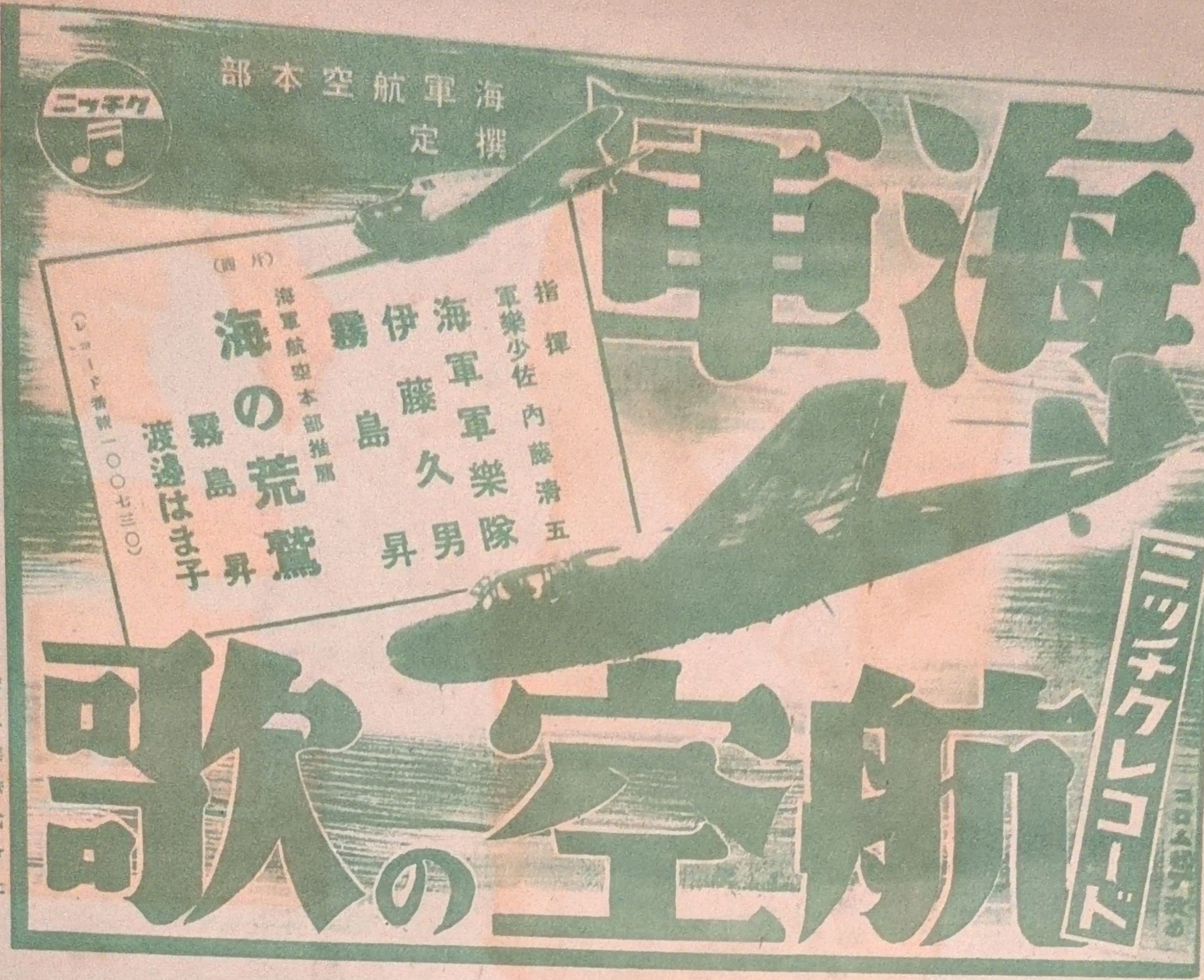
漫画

第十一巻 第八號

30 セン

眼て見る時局雑誌

八月號



日蓄工業株式會社

翼賛紙芝居

(呈進錄型)

大政翼賛會宣傳部推薦紙芝居(發行)

題名	價	〒
兵制の父・大村益次郎	一圓六十錢	廿錢
宣戰	六十五錢	十錢
此の感激を永遠に	五十五錢	十錢
敵だ！倒すぞ米英を	一圓二十錢	廿錢
曉闇	二圓	廿錢
明けゆく村	二圓	廿錢
中江藤樹の孝心	二圓	廿錢
仲よし五人組	二圓	廿錢

東京・神田

翼賛紙芝居販賣所

ヴァルガス行政長官訪問記

海軍報道班員
近藤日出造

本誌編輯長近藤日出造君は、海軍報道班員として、目下南方戰線に活躍中。八月號締切間際にボルネオより、はるはる興味深い第一信が、もたらされました。今後も續々と發表される、近藤君の南方通信を、御期待願ひます。

半袖半パンツのカーキ色防暑服でまかり出て、毛脛の中の、湯たんぽで火傷した一錢銅貨如ききずなど見せるのは行政長官閣下に對する禮ではない、と考へたので、白の背廣に白の靴、ネクタイをきちんとしめて宿舍を出ると、アカシヤの木蔭にしやがみ、舌を噛みさうなタガログ語でワイ／＼駄辯つて居た靴磨きの惡童共が一齊にこつちを向きこいつア珍らしいや、とばかりにヒューと口笛を鳴らして

「オイコラ　コンドシヤン、キーレイ　キーレイ　シロイ　シロイナア」

と彌次りました。

かう彌次られて、言葉も返さず、小僧何を言ふか、とツンとして居たのでは身も蓋もありません。宣撫にも親善にもなりません。

ひたすらに日比の親睦を希ふ私は、にやりと笑つて、「おいこら、靴磨きさん、汚い汚い、黒い黒いなア」

と返答しました。

すると彼等はこの冗談がひどく氣に入つたらしく、齒をむき出してきしらの如くに笑ひながら、立上つて私を圍み右手で左の腋の下を掻く様なかつこうをいたしました。ボクシングで近藤さんをのしちやふぞ、といふ意味です。ふさけつこをしませうや、といふ意味です。

私は「オヽ　ボーイズ　ノータイム！」

と彼等を制しました。かう見えても忙しいんだよ、とばかり時計を見ました。

五時二十分。こゝから海軍の本部までカルマタで〇分、海軍本部からマラカンアンまで自動車で〇〇分、六時に面會の約束だから丁度よし。

馭者の、桃色のシャツの背中の破け目が、鞭を振る度に丸くなつたり細くなつたりするのを見ながらふんぞり反つたりして居ると一應の施政方針みたいなものを胸に描いて見たくなります。私の様に比島滯在今日でやつと十日になるやならずの新米でも、或は又たつた今船から上つたばかりの者でも、飛行機から下りたばかりの人でも、一たんこの土地を鮫皮の靴で踏みさへすれば、ほんものの椰子の木を見さへすれば、急に大東亞の盟主たる感情が制し切れないほどこみ上げて來て、「要するにフイリピンはだねエ」などと言つて見たくなるものです。

しかも、本日只今から、ヴアルガス行政長官に會はうといふ私が、赤く色づきかゝつたマニラ灣の夕陽さへ、三角にでも、いびつにでも意識の力、主義の威力で變へて見せるぞ、と言ひたいばかりの政治家？になつて居つたのは當然だ、とお見逃し下さい。

十日間、私は人々の意見を聞き異見を聞きました。カルマタの料金は値切るべきだ、といふやうな政治的卓見や、食事のチップははづむべきだといふやうな政策的高説を聞かされました。甘やかしてはつけ上るぞといふ見方を、抑へたら反撥するぞといふ言葉が私の前で一騎打ちしたこともありました。型から教へ込め、と唱へる人が金は持つても財布がなかつたり、いや先づ精神から、中味からたゝき込まなくちやアと主張する人が蟇口を開いて「おや、金がねエや、賴むぜ」と言つたり、とにかく一時も早く私は私なりの決定的比島對策を打ち樹てなくては、喧噪と混亂と暑さでどうにもならぬやうな氣持になつて參つたのです。

そして、信念を持つ間も、斷言をする經驗も持たぬ時の主張？といふものは、大てい耳にした二つの意見をこねて二で割つた中庸説か、兩方に肩すかしを喰はせた責任說かにきまつて居ります。私はのらりくらりの性格上、無論後者を採りました。

「消極的な積極政策もある。積極的な消極法もある。」相手の出様といふものは、大ていの場合こつちの出様で規定されるものだから、頭痛のする日や腹下しの日はなるべく外へ出ないことにして、もう少しぢつと推移を見つめて見るといふのが案外効果的な方法ではあるまいか。みんなあんまり慌てて意見を持ちたがるやうだ。あんまり斷乎としたがるやうだ。

マニラには、これこの通り小鳥が囀つてゐる。花々が咲いて居る。パタアンは、コレ

ヒドールは、あれあの通り藍色に煙つてゐる。平和と思へば世にも平和な姿である。

個々の意見が、あまりせつかちに、ヒステリツクに小出しに火花を散らすと、却つてゲリラにひつかゝる。東京や神戸の盛り場で、曾て多少與太がかつて居た様な人たちが白ズボンの折り目を氣にしながら、あれこれ政治談議をすることより、要するに大きくものを言つてるのは、マニラ灣を出入りする帝國艦艇の數々ではないだらうか。歩武堂々と行進する帝國軍人間の規律の嚴しさではあるまいか。

少オレフイリピン人がにやけ過ぎてゐることや、いささか人の足元を見過ぎることなぞは、剛健な艦容、着實な兵隊さんの足元を見てゐるうちにだん／＼よく改つて來さうな氣がする。そして、だんだん、一歩々々とよくなるといふことほど、結果として効果の速かな上りはないのぢやないか」

……なぞと、私も僅々十日の滯在で既に斯の如く生意氣な意見がましきものを持つに至つたか、やれ／＼。おい、カルマタ、ストツプ！

本部には、通譯をしてくれるI囑託が待つて居ました。I氏は「日本の漫画家の名譽のため、うんとすばらしい自動車を出してもらひましたよ」と、近頃の東京あたりでは見ることも觸れることも出來ないやうな、ガソリンで動く細長くて光つた自動車の扉を開けてくれました。極上飛切りのカステラみたいなクツションに私は腰を下して、白ズボンの膝を組みました。

ヘツヘツ、つい二週間前、東京本郷の陋屋で、子供にお別れのションベンをさせてやつた男が、今、宮殿と稱せらるるマラカンアンの正面玄關へスル／＼と高級車を乘りつけるか。ヴアルガス長官にハウ、ドウ、ユウ、ドウと呼びかけるか。

長官の部屋へ入つたら、大股に颯爽と歩いて近寄らう。近寄つたら、短い足ながらすつくと立たう。

マラカンアンの門衞は、銅像の様に黑く、固く突つ立つて、擧手の禮をしました。正面玄關に自動車が停ると、四五人の人々が馳け寄つて扉を開け、私の足先まで頭を下げました。

私は、いつか見た首相官邸の閣議に臨む大臣諸公の様子を思ひ出し、や、や、と輕くあいさつを返して、人々が頭を上げた頃は奧に消へて居りました。

奧は、昔スペイン總督住みアメリカ總督も政務を執つた邸だけに、結構善美をつくした華麗さであります。

木原さんといふ、元外交官上りの、こゝではとても有名な長官の相談役が居りましてこの人が、どうぞ、どうぞ、と先に立ち、トン／＼と長官室をノツクいたしました。

貧乏くさい言ひ方ですが、底の固い黑い買ひ立ての靴で大股に颯爽と近寄らうと目論んだ私の氣負ひを、長官室の厚い絨たんはスワ／＼と音も賴りもなく吸ひ取つてしまひました。

子供じみた考へだつたのですが、丁々發止臆せずためらはず、相當突つ込んだ言葉を取り交さうと考へて居た私の闘志……いや衒氣は長者の風格を以つて、清潔に微笑んでゐるヴアルガス長官の溫容をまともに見て、日陰の花園で汗が引つ込むやうに引つ込んでしまひました。

實は當地に居る日本人諸氏の諸々の説などを相當遠慮なく、この當の責任者にぶちまけたり、或は又私自身が十日間に把握？した行きあたりばつたり政策に對する是非の批判なども、この大いなる同志に訊いて見たりしよう、と淺墓にも思つて居つたのですが生れて三十五年の歳月は、かうした場合、とつさにその矛をさめる分別を私如き者

にまで教へてくれます。つまり私は、私の氣負ひがスーツと引つ込むと同時に、私自身の身の丈がスーツと伸びたやうに感じたのです。

意氣地がない、と思つた悔恨がほんの瞬間で、逆に百尺竿頭更に一歩を進めた自覺があゝよかつた、といふ安堵となつて私の氣持を樂にしてくれたのです。

早老のたわごととさげすんで下さいますな。思慮と分別は、旺んなる意氣と共に身内に藏すべきものであります。

この際、私がヴアルガス長官に、カルマタは値切るべきか？　チップははづむべきか？　なぞと訊くべきではありますまい。殊に東洋政治の妙諦は、アメリカあたりの樣におしやべりや宣傳を先行させないところにあります。現實以前に、眞相？　をむやみに發表したりせぬところにあります。實行が理論をつくり、理論が空論に終らぬところにあります。

眞の東洋的指導理念は、悠久なる天地を、無言でぢつと見つめてゐる間に培はれ、充たされつゝあるものでありませう。

私はヴアルガス長官に、極く極くあたりまへの、月並の質問をすることにいたしました。言葉の内容よりは、日本の一人の漫画家が、長官の顔を描きに訪ねた、兩方が笑つてひとときを過した、といふことの方が、より大事なことの樣に思へますから。

さて、昔の相撲の樣に、仕切りが長々しくて恐縮ですが、はじめて通譯付きで話して見ますと、どうも誰に話してゐるのか見當が違ふものです。

私は、

「えゝ、お互ひに、仲よくいたしませう長官閣下。えゝ、仲よくいたしますには、双方の長所なり缺點なりを知悉しておくことが大事だと存じます。で、先づ長官閣下がお感じになつたですな……」

とこゝまでヴアルガス長官の方を向つて言ひ、

「日本人の長所と缺點をですな、一つお話し願へませんでせうかな」

と通譯のI氏の顔を見て言ひました。

I氏は九代目團十郎みたいな長い顔で、ギヨロリと上眼を使つて、私の言葉を英語に直して居りましたが、やがてペラ〳〵〳〵とその意味を長官に通じました。

「おゝ！」と長官が小さな歎聲を洩らしました。むづかしい質問だね。といふ風に暫し考へ、とても澄んだ、歯切れのいゝ聲で、ミスターコンドウペラ〳〵〳〵のペラ〳〵〳〵としゃべり出しました。

それはこんな答へです。

「近藤君。私は戰前から日本人を非常に尊敬して居ります日本人の友達も澤山持つて居ります。私がそれ等の人とつきあつて、第一に感じる長所は、その思想が眞面目であることです。常に人類の生活を豐かに有意義にしようと心懸けてゐる點です。日本人は、人間がどんな目的を持つて生れて來たかといふことを本當によく知つてゐます。人間と動物との差異を日本人ほどよく辨へてゐる民族はないでせう。

從つて日本人は、人類の持ち得るもつとも崇高な感情、即ち士氣と統制とをよく身に體して居るのです。そして、それ等の感情が、目的に向つて邁進する、といふ意志力の源泉となつて活潑に表現されるのです。これは人間の持ち得るあらゆる長所の中でもつとも優れた長所であると言へませう」

褒められた時は、顔色一つ變へないで居るのが床しい。私は微動もせず、次の「缺點」の出を待ちました。

「……日本人の缺點は……近藤君、私は次に述べる點を缺點とは思つて居ない。これは日本人の特質なのだ。

私の顔のどこの形が惡い、と言はれても私にはそれをどうすることも出來ない。それが私の人相をつくつてゐるのです。そこに私の特質があるのです。どうかその點御諒解願ひたい」

私は、私のエラのことを言はれてゐるやうな氣がして、大きく頷きました。長官は言葉を續けます。

「日本人は、非常によく統制をとる關係上多少機械的に過ぎるやうに私には感じられます。そんな點が外人と混然とミツクスしない、といふやうな現象となつて來るのではないだらうか。

自己を屈せず、しかも外界と混然と融和する……そこに私は政治家の苦勞も樂しさもあると思ふのです」

缺點を言はれた時は、そしてそれがさうだと思へた時は何のはゞかりもなく頭を縱に振るべきです。

頭を縱に振りながら、

「しからばフイリピン人の長所短所は？」

と私は疊んで訊きました。

「……フイリピン人の缺點……既に君もいろ〳〵感じられて居ることと思ふが、それは中々多い。

四十年間、アメリカは、どんなにわれ〳〵フイリピン人に缺點を植へつけようと呪ふべき力を注いだことか……しかし近藤君、私は、われ〳〵の個人主義も、無統制も、われ〳〵自身の努力と、日本の指導によつて非常に早く矯めることが出來ると信じて居ます

何故ならば、フイリピン人には時を見る臨機應變性がある東洋人に東洋が還つて來た、といふ觀念が、われ〳〵の惠まれた臨機應變性を、良い意味で活かしてくれるでせう。

それから、個人主義を打破すべき根本觀念たる親切な心をフイリピン人は澤山持つて居ります。或は又、フイリピン人の向學心、向上心が、現段階としては獨立國家を持つ點に注がれて居ます。

しかし近藤君、學生には教師が必要です。向學心、向上心に手を貸してくれる先生が必要です。

一九一三年、私がマニラで開かれた極東オリムピツク大會に委員長をつとめた頃、日本の得點は極東に於てすら第三番目だつた。しかも非常に低い三番目だつた。

その日本が、今や何をやつても世界第一になつてゐる。この驚異を、日本の國體と日本人の優秀性以外に究明し、求めることは困難です。

この驚嘆すべき進歩性ある日本を、われ〳〵が師と仰ぎ、教へを乞ふのに眉をひそめる者があるであらうか。

日本に對する尊敬と、確信が結び付いた時、私は勇氣付けられました。私の正しい自己批判は、私に偉大なる師表の必要を痛感させるのです。

近藤君。われ〳〵のフイリピンはまだ〳〵遠い道を歩いて居ます。石ころを除け、水たまりを跳び越へ、輝かしいゴールまで辿りつかなければなりません。

パアを越へよう。水を泳ぎ切らう。苦しいが、それをなし遂げた時、幾百倍の歡喜がわれ〳〵を待つて居る。もつとも偉大な歡喜といふものは、自身さへ測り知らない能力を自身の中に發見した時、味はれるものです。唯物思想の未熟さも、この點からはつきり知ることが出來ます。

強いフイリピンの建設創意あるフイリピン文化の建設。

私はどこの食ひ物よりフイリピン料理を好む。その次に日本のすきやきを好む。アメリカ料理は私の口を閉ぢさせる威力を持つて居ます。

日本萬歳！　フイリピンマブハイ！　しつかり手を握りませう、近藤君」

ヴアルガス長官が立上つて手をさし出しました。私は慌てて立上つて手をさし出しました。

おや、おや、爪を切つて來るんだつた。

池田永一治

アリューシャン風土記

―僕等は益々元氣です―

陸軍上等兵　古田久三郎

ヤマ

こゝの山には木がないのは皆様も御存知の事と思ひますが、ダッチハーバーでは樹植をしてゐるんですが、キスカ島には木なんてものてんでありません。それで障害物がないのでスキーに乘つたり、行軍、演習には頗る便利ですが、燃料や突風や何やかやと、不便な事もありますが、坊主山があるかと思ふと、峻嶮なそれは〳〵見事な山もあります。

東京に生活してゐた僕は、まるで月世界へでも來た樣でした。

この島の色々の名稱も、大雪山石狩川、大沼、小沼と懷しい日本の名前がつけられてゐます。

ウミ

北太平洋、ベーリング海にかこまれた海はアメリカの西海岸を流れる暖流と、カムチヤツカから來る寒流と合流して、皆樣が心配される程寒さは感じませんが、内地よりは寒い樂はたしかです。そし

爲めか、全く氣持ちが悪く、いつだつたか、三米もあるイカが上つて來たり、僕等の倍もある樣なタコの怪物が、出て來たりしました

まだ〳〵このどす靑い海底にきつと怪物がたくさんすんでゐると思ひます。

カハ

川は大きなのはありません、せい〳〵あつてひざかぶ位迄です、大てえはマスやサケが、上つて來ても背中が出る位の所です。

この川の水が飲料水になり、お風呂の水になるのです。礦物性がふくまれてゐるので、石鹸がとけにくゝ、おまけに生水は軀にこたへるので、わかして飲みますが、生ぬるくなると、とても變な匂が鼻について飲みにくいです。ツンドラの根を通つて來てゐるのでドロくさい時もあります。

然し川の水は僕等生命のツナですから皆んな大事にして居ります

ユキ

すが、時々とてつもなく大きな雪日本で云つてるボタン雪の樣なのも降ります。

雪が少しより降らなくても、この名物の突風が吹きつけると、一寸先も見えない位になり、その雪が小石が頬に當る樣に、たゝきつけます。この雪も時々降るいたづら雨のために、すつかり消える事もあります。

ツンドラ

今は凍つてゐますが、上陸當時はこのツンドラになやまされました。カイメンの樣で水をすふと中々乾かず足に力を入れるとひざまでうづまるのです。

然しこのツンドラの乾いたところへ寢ころんでゐると、内地のフトンの上に寢た樣に、氣持ちのいゝものでした。

このツンドラが山一面に覆ひかぶさつてゐるのです。コケのはえたボンサイを御覧になつた事があるでせう、あれに似てます。

キツネ

キツネと云へば人を馬鹿にしたり何んかしてあまり好きがられない樣ですが、アリューシャンのキツネは、僕等のお友達で、仲々可愛らしい動物です。食ひついたりかつちやいたりもしません。コゲ茶と白の二色ありますが、白いのはたくさんゐません。

日本の皆樣から、ぜひ歸還みやげにキツネのえり卷とのおほせでしたが、可哀想で殺すなんて事出來ません、生きたまゝ持つて行きます。このキツネも、アリウト族に捕へられて一四二三圓のものをアメリカの毛皮商のブローカーに買ひ取られたものが、サンフランシスコのデパートで一寸加工して何百圓となるのです。これを見てもヤンキーの金取り主義個人主義が解ると思ひました。

デンキ

アリューシャンには電氣はありませんが、ランプとローソクが夜の女王樣で、これとても中々の貴重品で、とてもみんな大事に使つて居ります。日本にゐた時にあの明るい電氣の下で仕事をした事が今とても懷しいです。今では十三時に日が暮れて四時に明けます、その夜の長い事、夜が長いからと云つてアリューシャンの兵隊は寢ません、夜は夜で作業があるのです。お國の爲めと思へば何んともありません。

ユタンポ

戰地にも湯たんぽあるの不思議に思ふでせう、湯たんぽとは名のみで、水筒に湯をわかして、抱い

て寢るのです、とてもあつたまるので人氣があります。

夜中が一番冷えるので、アリューシャンは、この湯たんぽにみんなかじりついて寢てます、寢相の悪い戰友は、アチ……と云ふ事になるので腹卷やタオルでしつかりしばつてあるから御安心下さい。

オタヨリ

この便り位僕等を興奮させ、又は元氣付けるものはありません。月に一回位のこの便りを貰つた一同は子供の樣に喜んで、讀んだ後も大切に取つて置いて淋しい時に出して讀みます。注射よりよくきゝますね。

然しあまり型にはまつたものやオセヂたつぷりが見えすいてるのや何んかのは、きゝめがうすいです。

中には、そちらも第一線と同じ樣に危いですネ等にはがつかりしました。

今はこのアリューシャンの土の下に寢る、大東亜のいしずえとなられた幾多の英靈に對して、何んと云つてよいやら報告に苦しむです。

南方に比べて北方はジミですから仕方もありませんが、今少し北に對する認識を深めていたゞきたいものだと思ひます。

そして一般に返事を出しても、反動があまりないです。通り一遍の慰問文でなしに、もつと〳〵銃後の皆樣と、御近づきになりたいものと思つてゐますが、返事のお書きになるおひまがございませんのでしたら、古新聞でもどんなに喜ばれる事でせう。（筆者は漫画協團員）

減るは飛行機・増えるは罷業

和田義三

夏雲

征け皇國學徒

清水崑

風呂の無い國

ビルマ従軍漫画家の覺え書

六

井崎かずを

情報

いくつもの山河を越え、ビルマ領へ近づくにつれて、新しい宿舍宿舍で、刻々に新しい情報を耳にすることが出來た。

それによれば、先づラングーンを逃げだした敵は、逸早くラングーンーマンダレー中間のトングーの線まで後退し、マンダレーを中心に堅固な防衞陣を敷きつゝあること、それから、今度の戰ひでの著るしい特色は、例の重慶軍がはる〴〵ビルマ戰線へ現れ、マンダレー防衞の主力となつてゐること、殊に、井藤君たちをギクリとさせたことは、殘存敵空軍は、わが軍兵站線を、……つまり井藤君達がこれから通過しやうとする渡河點や、ビルマの村落へ、執拗なゲリラ銃爆擊を試みてゐるといふことであつた。

「まあ、まさかのこともありますまいが、二三日前も〇〇河へ二三機現れたさうですよ。皆さんも途中充分氣をつけて行つて下さいよ」

通過する每に、兵站の兵隊達が親切にこの樣な言葉を送つて呉れるのだが、勘ちやんは、

「やだねえ、なんだかお悔み聞いてるみたいだよ」と、嘆いた。

こうしたわけで、もはや軍屬連は、一刻一秒も安閑とはしてゐられない。

肝心のトラックの屋根が落ちたからといつて、これを建直すだけの時間も資材も、今のところ全然ないのである。

車は燦々と燒けつくやうな熱帶の太陽を、モロに浴び乍ら、丸裸で走り續けた。

總鋼鐵製の車體は、どこへ觸れても、ジンと暑さがしみ込んでゐるのである。

「俺たちは、まるで今川燒みてえなもんさ、こうあつたかい鐵板の上に乘つかつていちやね」カメラの赤本君は、うがつたことを言つて、一行を笑はせた。

「首すじを、さらしちやあかんぜ忽ち日射病だ」

老人達は若者達に細かい所を注意した。戰友達はもう、恥も外聞もなくなつて、古新聞紙に穴をあけ、頭からスッポリかぶつたり、洗濯したての褌を首にまきつけて、暑さを防いだ。その上埃ボウ〳〵埃だらけときてるので、凄いといふより、かへつて、可笑しさが先に立つて、井藤君は自分の格恰をも忘れて、ついゲラ〳〵と笑ひ出してしまふのである。

がしかし、ビルマが近づけば近づく程、士氣は極めて旺盛であつた。

「俺はよつぽど支那さんには緣が深いな」とカメラマンの白瀬君は

「事變に出征して、歸つたら直ぐ重慶爆擊で從軍でさ、それが終へたらこんだの大戰爭だ。どつちみち俺は支那さんと喧嘩するやうに生れて來たのかもしれないよ」

と言つた。

「敵機は、どんな風にやつて來るのかね、なんだか、いちど空襲されてみたい氣がしないかい」

一番年若い勘ちやんは、勘ちやんらしいことを皆に言つた。

なるほど、その氣持は、戰友の全部が全部思つてゐることに違ひなかつた。

空襲は怖いには違ひないが、しかし、何か敵を見たいといふ衝動が、最近井藤君の胸の中でもしきりに頭を、もたげはじめてゐるのである。

每日の激しい進擊が、俺のか細い神經をこゝまで太々しく育てゝくれたとすれば、こいつはなによりの收穫だ、井藤君はひとりでニコリとこんなことを考へたりする。

ドバマ

あの山一つ越えると、いよ〳〵問題のビルマといふあたりから、今度は俄かに老人組が活氣づいて來たやうだ。

「きたさのさァ――、ドッコイショ――」

河柳老人は蠻聲をはりあげて、小原節を唄つた。老人の言ふ所によれば、これは本場仕込みの正調小原節とかいふやつで、ビルマ在住邦人間の中で、これ程の小原節をこなす者は、自分をおいて外にはない、つまり、ビルマ隨一の小原節だといふのである。

老人は、この唄以外にはあまり唄は知らないらしく、なにかといふと、キタサノサア、ドッコイショーの一點張りで通した。

熱帶國の青空と、エンヂンの響きと、正調小原節とでは、どうにも妙な組合せではあつたが、若者達は、

「そら、おつさんの、唄がはじまつたぞ」

と聞いただけで、なんとなく元氣づいたのであつた。

松江翁や、上村四段氏、それに近來河魚のカンロ煮によつて、めつきり男前をあげた加納老なども交つて、

「ありがたう、とう〳〵來ましたぞ、若い人達には隨分お世話になりましたな」

「こゝまで來れば、もうこつちのもんです、ありがたう」などと、若者達の前で選擧に落選した人のやうに幾回も頭を下げては、若者達をすつかり恐縮させた。

車は、長い椰林の一つを拔け切ると、やがて眼の前に、忽然と大平原が、ひらけたのである。

「ペゴダだ！　あれがペゴダですぞ」

河柳老は飛び上つて、叫んだ。

「パゴダだ！」
「ビルマだ！」
「ビルマですぞ！」
噂に聞いた黄金色の佛塔が、遠くに近くに、もく／＼と熱帶特有の積亂雲を背にして、繪のやうに聳へてゐた。
小さな緑色の一つの塊りとの距離がぐん／＼せばまり、それが一つの村落の森と知れるころから、老人達は一線に延び上り、右手を固く握つて待ちかまへた。
「ドバマ」
「ドバマ！」
老人達は、ビルマ國萬歳！を叫び乍ら、右に左に、帽子を幾回も振つたが、眼の前の部落からは、何の手ごたへも見られなかつた。
「誰も居ない」老人の一人が落膽して言つた。
「殘念だ、ビルマ人は、みんな村から逃げてゐる」河柳老は無念さうに言つた。
畑といふ畑は、ほとんどが燒野原だつた。黒々と、廣々と燒はらはれた畑の中に、一本二本と立木が殘骸のやうに倒れてゐたり、燒け殘つた米倉の中から、幾日燃へつゞけたものか、米の燒ける臭ひが、プンプンと漂つてゐた。
「畜生、ひどいことをしやがる、敵の焦土戰術だ」
河柳老は、口惜さうにつぶやいた。
井藤君は、米の燒ける臭ひをかぎ乍ら、これが戰爭の臭ひであるかもしれない、と思ふ。そして、さあ戰場だ戰場だと、しきりに自分に言ひきかせてゐた。

炊事當番

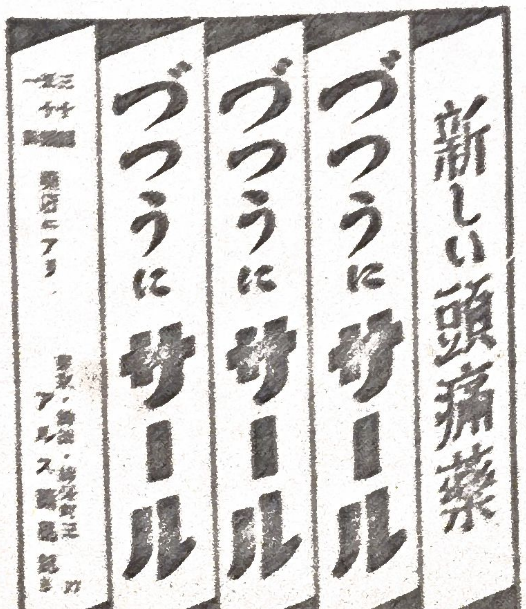
井藤君と朝田文藏君は、本日の炊事當番であつた。
ビルマ領へ入ると、道が良いのと、間もなく目的地であるといふ張合ひから、車は豫定を繰上げてどん／＼走り續けたので、昨夜遲くには〇〇河渡河點の一部落へ到着したのであつた。
さて、五六百米はあると思はれるこの河を、數臺のトラックと班員を渡すには、是非とも工兵隊の鐵舟の力を借りなければならない。
しかし、渡河には、先着の部隊が大勢待機してゐるので、井藤君達は、手前の部落で順番を待たなければならないのである。
食事當番は、毎日二人づゝの交替であつた。兵站のある所では、當番は大きなバケツと什器を擔いで炊事場から、飯と、おかずを運んで來るだけでよかつたが、今日の様に、突然の宿營となると、當番は戰友達の飯盒を集めたり、米の分配や、汁加減を見たり、戰友達より一足先きに起きて火もたきつけなければならなかつた。
「坪上小隊長がね、この河下の方に、井戸がある筈だから、その邊で飯をたくやうに と言つてたがね」
井藤君の新しい相棒の、朝田君は印刷屋であつた。井藤君達のいはゆる「うるさ方」の仲間ではなくて、甚だこのグループには珍らしい程の地味な存在ではあつたが、世間の荒波の一つ一つを身につけた、いはゞ苦勞人肌の中老のおぢさんであつた。
井藤君にとつては、誠に有難い相棒であつた。
夜はまだ、明け切らなかつた。二人の相棒は、うすあかりの中でやつと大きな井戸をみつけ、米と野菜と、粉味噌の荷を下したり、薪集めに懸命であつた。
「飯盒飯は、たき方が難しいよ。吹いてきたら、頭んところを棒切れでボン／＼と叩いて見るんだよ。ボン／＼と音のするうちは、まだ水が引かない證據だ、ボコンと重い音を聞かないうちは、下しちや駄目だよ」
朝田君は、井藤君に、細かいコツを傳授した。
夜が白々と明けはじめる。視界が擴まるにつれて、井藤君の眼には、崩れ落ちた屋根や大きく穴のあいた壁が、眼にとまつた。よほどの激戰があつた場所に違ひなかつた。
「渡河點ですからね、敵も此處では相當がんばつたですよ」
「今でも此處へはきつと敵機がやつてきます。もつともこの二三日は、どうしたわけか見えませんがね」
水くみに來た警備の兵隊たちが交る交る井藤君に話しかけた。
相棒の朝田君は、
「薪が足りない。一寸この崖の上へ行つて見るから――」
と出掛けたまゝ、仲々歸つて來さうにもない。
井藤君は、石油罐の味噌汁を棒きれでかき廻し、ペロリと味を見たりした。
寢不足の、煙草で荒れた舌には折角の味噌汁のうまい味も、ちつとも感じがなかつた。
それから、井藤君は、空を仰いだり、燒のこりの立木に、早起きの小鳥共の囀りを痛々しい氣持で耳にしたりしてゐたが、
「おや？」
と、遥か、遠くの崖の下で、桃色の腰卷を卷いたビルマ人達の姿を見つけたのである。
ビルマ人達は燒けあとの棒杭をかたづけたり、或者は、せつせと材木を運んだりして、それが、何のために、働いてゐるのか、井藤君にも、ひとめですぐに知れたのである。
「バラックを建てるんだ」
やがて、ビルマ人たちの木を倒す斧の音がカーンカーンと、井藤君の寢不足の頭に、久方ぶりに快く響いてくるのであつた。
井藤君がこれらの光景にうつとりとしてゐる時である。
先刻、朝田君が昇つて行つた草叢が俄かにガサガサと揺れたと思ふと、薪も何も持たない當の朝田君が眼ばかりギヨロ／＼させて、ライオンのやうに四ツんばひになり乍ら、
「お、おーいッ！」
と、井藤君に呼びかけた。
「し、死んで居るんだ、人が、この上で死んで居るんだよ」
と、大聲で叫んだのである。
（つゞく）

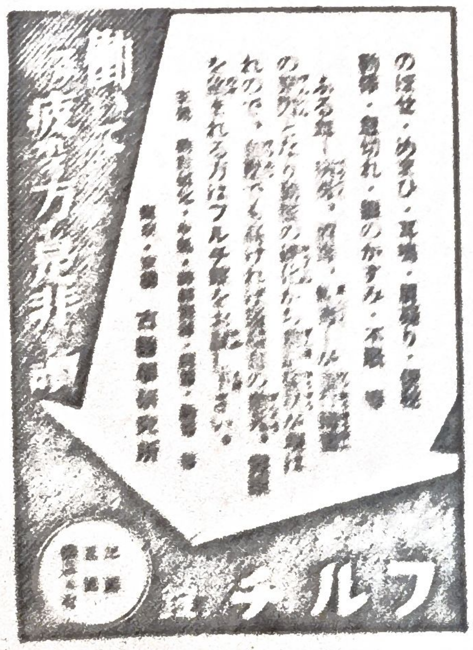
「不動」の信念で
インド完全独立へ

安本 亮一

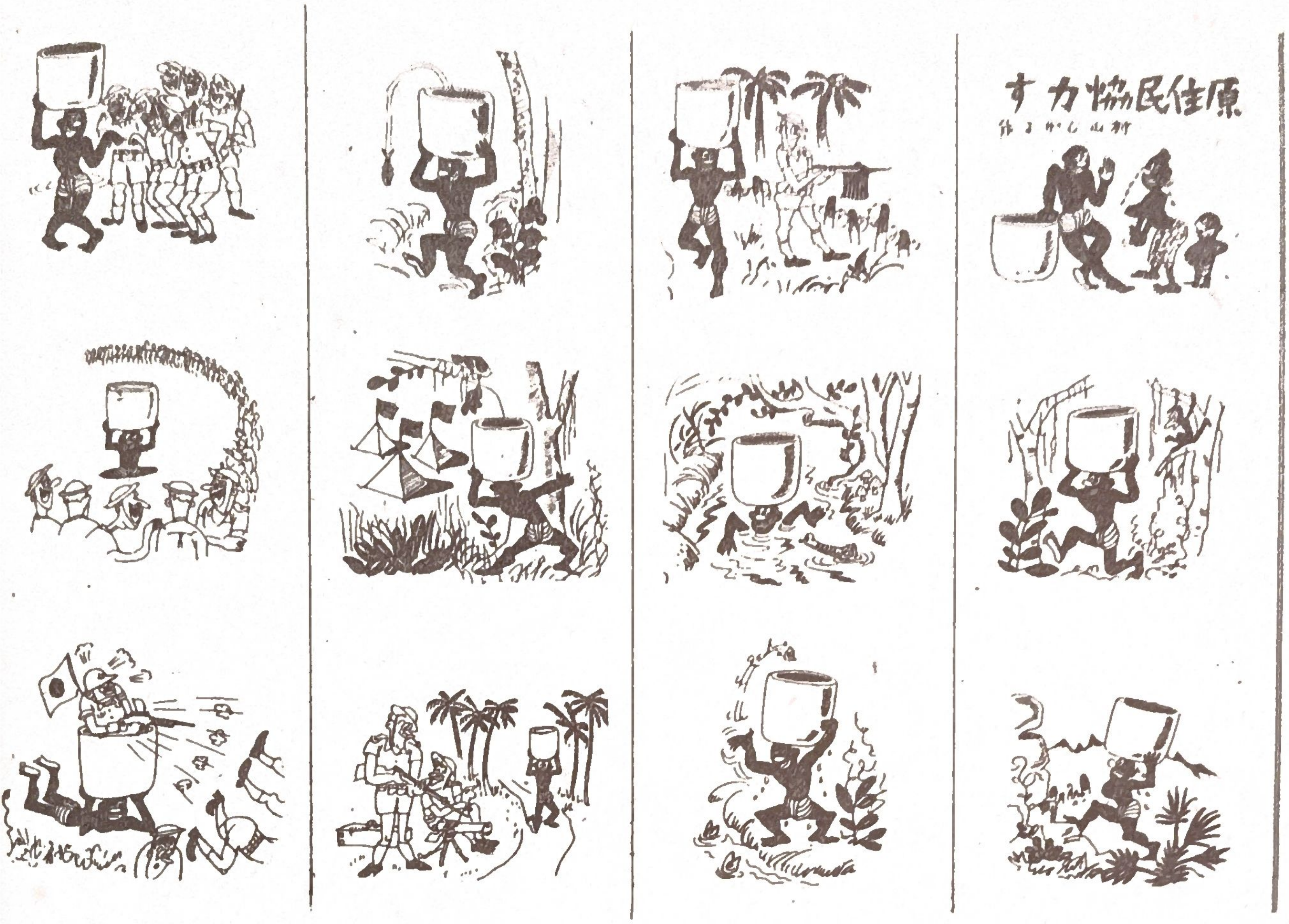
チャンドラ・ボース氏曰く「さて、この次の曲藝は、あいつをしめあげて、御覧に入れます。

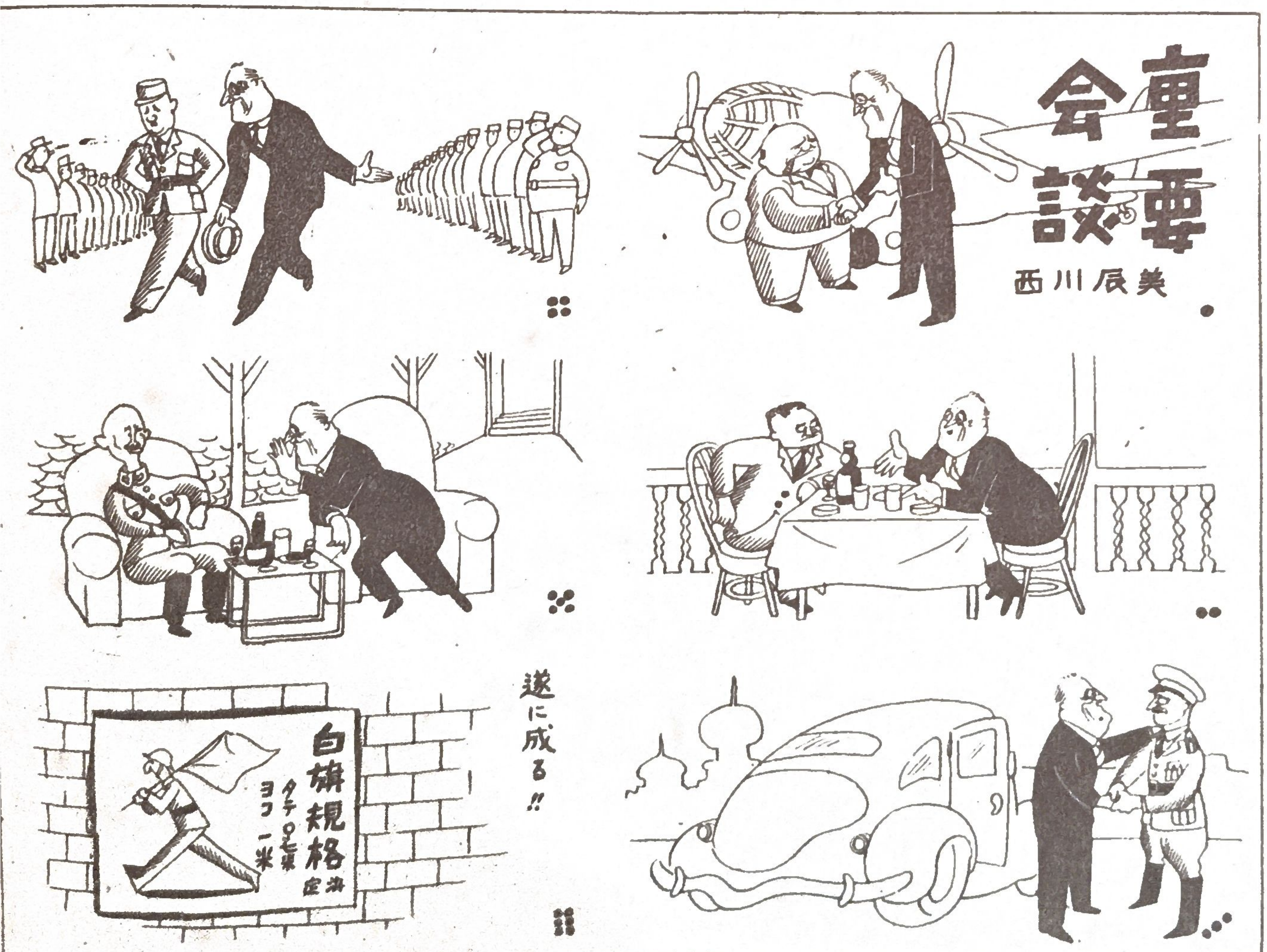
那須 良輔



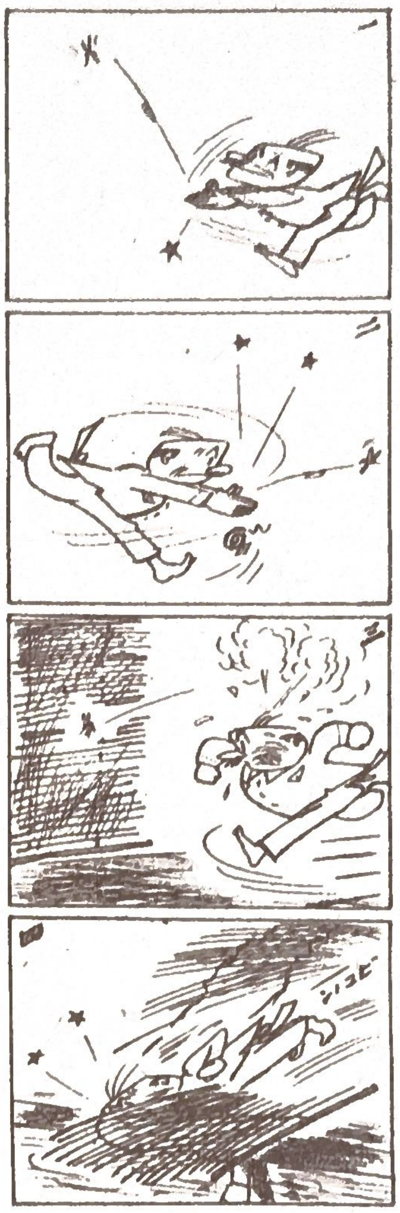


上から下へ順に御覧下さい



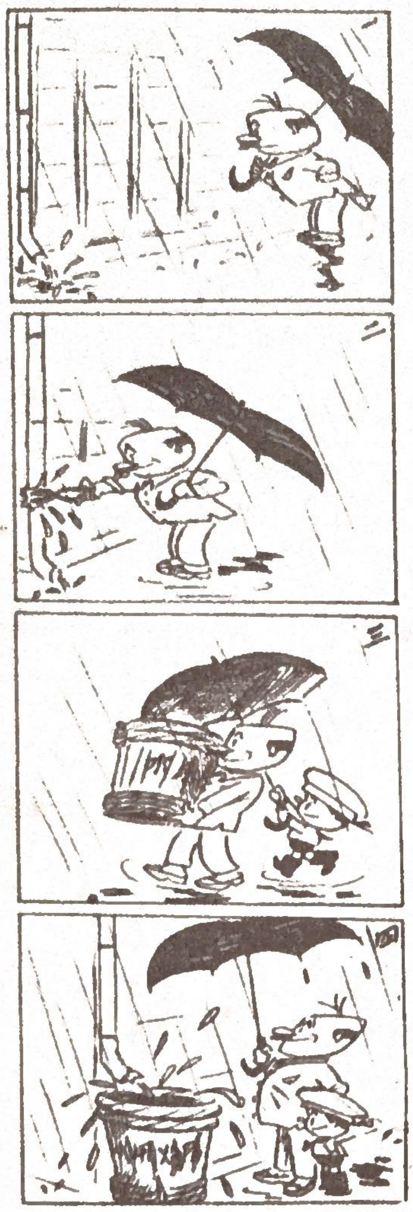


益子善六



荒鷲精神

謝、淺慮



用水節約一工夫

微笑詩

古馬車

芳垣青天

驛を出ると
陸軍病院ゆきの馬車が待つてゐた
風呂敷包みを一つづゝ抱えた
面會の人達で
馬車は忽ち滿員になつた
パカッ　パカッ
といふ蹄の音
カタリコトリ　カタリコトリ
と轍のおと
街道の新線
光る片雲
遠い故鄕の彼の日の印象が
映畫めいた構成で再現されてゐる
馬車……馬車……
そこで私ののんきな幻想は
一つの愉快な人生を
白晝夢のやうに描き出してゐる

村の中央に私鐵の驛が出來
乘合自動車の會社が生れた
村の氣風は都會じみて
長閑だつた往還は
ガソリンの臭氣と騷音にあけくれた

馬車屋の爺さんは失業同然
バスの運轉手が英雄の如く
村から町へ橫行した
その運轉手と爺さんの娘が戀におちた
生甲斐を失つた爺さんの嘆き怒り
孫が生れた
無心な嬰兒の神の如き笑顏
爺さんには人生が謎だつた

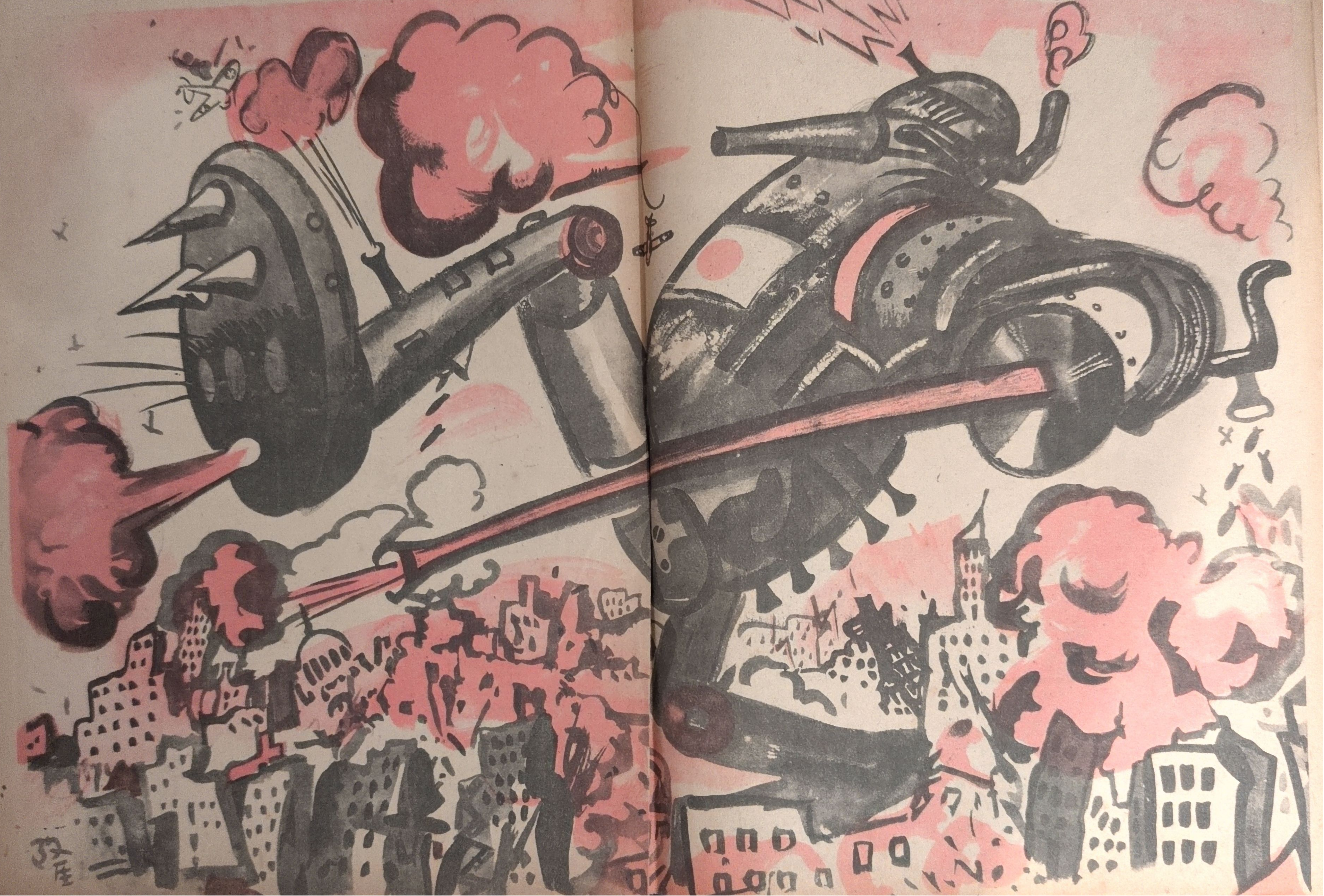
戰爭が始まつた
町の若者達が
勇んで戰場へ立つて行つた
婿の運轉手にも赤紙がきた
爺さんに人生がわかりかけてくる
それから幾月
銃後を守る父娘の勤勞
けふも飼馬に目を輝かせてゐる

突如として
爺さんと古馬車に再起奉公の日がきた
それは
町の南の丘陵に
兵隊さんの療養所が出來たからだ
そこの專用交通機關に
爺さんの馬車が所望されたのだ
驛から病院までの十丁あまりを
昔なつかしい轍の音をたてながら
爺さんは
今こそハッキリと生甲斐を取り戻した

パカッ　パカッ
カタリコトリ　カタリコトリ
陸軍病院の白い門へ
新線の道がまつすぐに續いてゐる

科學戰士ニューヨークに出現す

横山隆一

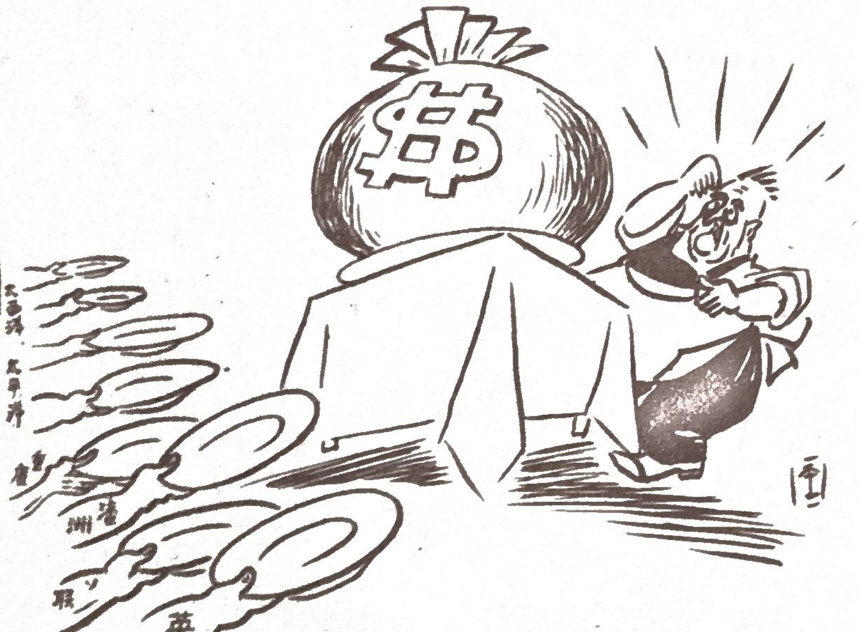


應募漫画

紙芝居の義侠心　「よし！君達が貯金するつてなら、この場所だけは、無代で見せよう」（ロ）當選　山根一二三

後継者有り　（ハ）當選　元永憲男

兵器廠　ドルの配給も切符制にしては　（ホ）當選　矢武本次



鐵材獻納　「婆さんや、なつかしいのう」「お前さんと、一緒になつた頃のハンショと同じだつて」（ホ）當選　谷村六朗

募集規定

1、課題「空の決戰」漫画
2、大きさ　自由　3、墨一色
4、締切　八月十五日までに到着するやうお送り下さい
5、画料　イ　五拾圓　ロ　貳拾五圓　ハ　拾五圓　ニ　拾圓　ホ　五圓
6、画料は發表一ケ月後に發送
7、住所氏名は原稿の裏に明記のこと
8、宛名は　東京都京橋區銀座四ノ三　數寄屋橋ビル

新日本漫画家協會

今月の漫画評

山根君は二枚送つて来たが、二枚共入選候補となつた。街の明朗さを摑んで居る點はいゝと思ふ。然し画をもう少し研究して描くと姿が生きて来る。材木置場と子供が同じ強さの線で描かれて居るので見て居ると画の中へ入れた線と木目の線がごつちゃになつて見づらい。

元永君の作品は題と画がよく合つた明るさが作品を生かして居る、兵隊さんの声のあたりなか／＼強さうで感じのいゝ画だ。矢武君の作品は構圖がいゝので採つた。然し平凡な作だ。谷内君は常連となつたがもつと頑張つていゝ作品をお送り下さい　（隆一）

絶景

清水崑

山本元帥の國葬の盛儀に陪した人びとの誰もが、國葬の儀の簡素明徹、嚴肅の極みであつたことを、謙虚なゝかに非常なおどろきをこめて傳えてゐる。色も音も全くなく、ただ、墨繪の如くであつたといふ。よもやこれほどとは、といふ感動に打たれて、靜けさ以上の何ものかからわななくばかりの愉悦を身にしみ感じたにちがひない。

×

畫家といふものは、ながく絶景に接しないでゐると、ささやかな風景一つ充分には描けなくなりがちだ、ときいてゐる。しかし、今は誰もが抱えきれぬほどの榮譽を持つ國民の一人として、新しい東亞の創造といふ歷史的大藝術にたづさはるものだ。ささやかな配給の芋一つにも私たちはおかに背後の絶景を直覺する。

×

國葬の盛儀に陪した人びとのおどろきはそのまま全國民の感動である。ひとたび至高なるものに對するとき、私たちは各々日本人の精粹一本に貫かれて照覽をかたじけなくし、忽ち無色無音の森々たる噫を互ひの中に現ずるのだらう

×

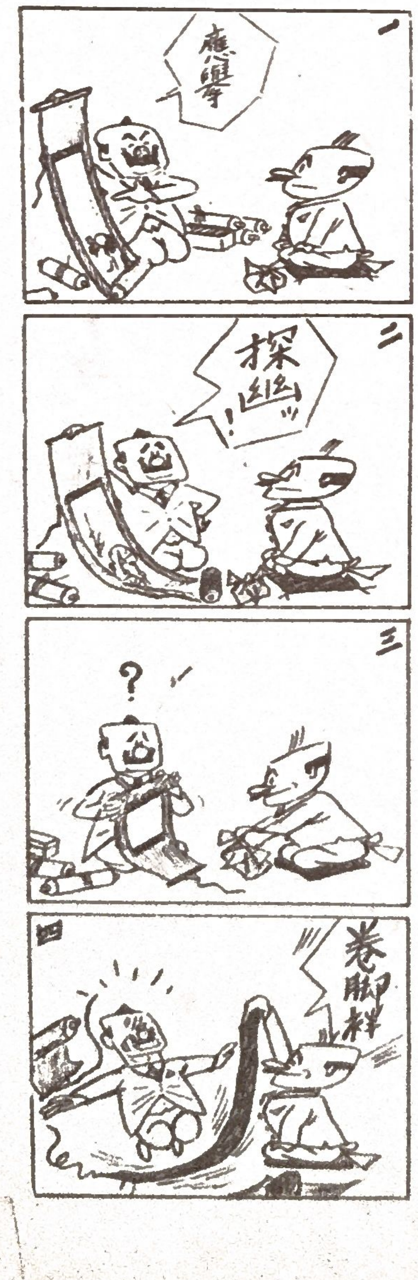
無駄を捨てるからにはまづ捨てるに足るべき無駄の持合せがある筈だ。私たちはもう捨てるにも足らぬ無駄は悉く捨て盡した。捨てるに足る無駄とは元來必要なるものの一部である。今はそれさへも捨てねばならぬ。さうして、如何に捨てるべきかの工夫は如何にして最も必要なものを殘すかの苦心と表裏をなす。東洋の藝術の苦心は常にこの點にあつたときかされて來た。捨てに捨てて最後に辿りつくところにこそ、創造の頂上はあるのだらう。

×

袖を截り、ネクタイを廢するといふ捨てる工夫の連續は、艱難ながら、しかし、一歩一歩巨いなる愉悦へと近づく民族的強行軍の泥まみれた幾歩かであるに相違ない。

巻物自慢

益子善六



ナ子さんの慰問袋

杉浦幸雄

不健康な噺

「その魔法使ひの家は、屋根はビスケットで壁はチョコレート、柱はアルヘイ糖で、シュークリームやボンボンの……あらこれ、不健全な話ね、止しませう。」「なあーんだ、莫迦々々しい、お伽噺か？」

貯金の種類

エート「月掛」はこれ、これが「つもり」で、これは「萬歳貯金」で、こつちは「残念貯金」で、それから坊やのと、お祖父さんと、お祖母さんと、私のとアナタのと、それからこれはエート、……

家庭園藝

「早くあのお馬、トマトのコヤシを出してくれゝばいゝのにねエ」

テンゴク會談

中村篤九

雲の上なる天國で英國の神様と米國の神様が出會うた。

「ようイギリス屋の大將、相變らず、青蛙がゲンノショウコをたらふくのんだやうな、やけに不景氣な顔をしてるじやねーか」

「チェッ」

「やけに御機嫌ななめだね、ええおい、お互に祝福しやうじやねーか、このところ我々にとつては」

「惡いことばかりが續く」

「氣に喰はねえ死に損ひめ、えんぎでもねえ、何せ一番悪いことばかりなんだい。地中海で、太平洋で、我々の反撃は着々成功しつつある」

「あんなこと嘘で戰果だなんて、アメリカ屋もえらくおちぶれたもんだ」

「もう一度言つて見ろ、おたんこなす」

「おたんこなすはお前さんさ、胸に手をあててようく考へてごらんなさい、お前さんはこの一年の間に一體何をしたつてんだい、二言目にはえら相に死に損ひ／＼とイギリスの悪口を言ひなさるがね、お前さんだつて言つて見りや死に損ひさ。人の居ない様なちつぽけな島に三萬五千の兵隊をさしむけて、それで反撃が聞いてあきれらあね。一年三百六十五日かかつて島の一つや二つとつたからつて何もさうえら相な顔をするにあたらねいや。とんだひまつぶしだ。お前さん達が大きなテーブルに向つて出來もしねえ反撃の相談ばかりしてる間に、ポートダーヴィンには日本の陸軍がとんで來たんですぜ」

「チョッ、いやな奴。飛行機がありやどこへだつてとんで行けらあ」

「さうだとも、とぶだけはとぶよアメリカの飛行機も全くよくとびなさる、だがそれはただとび上るだけだ、満足におりて來る奴がねえじやないか。子供のつくつた模型飛行機の方がまだましと言ふものさ」

「この恩知らず奴」

「かけられねえ恩を知る事は出來ないさ。恩はきれねえでチキチキで殺は一ぱいにならないんだ」

「こいつ言はしておけば」

「ああいくらでも言ふさ、こうなりや何もかにも言つてやらあね」

「ぶち殺すぞ」

「殺すだつて、たとへいくらおちぶれた神様でも神様に手出しをすると罰があたるぞ。このアメリカ猿」

「うぬ」

「ヘツヘツヘ。どうだいアメリカ屋、お前さんが考へてるほど戰爭と言ふものは簡單なもんじやないんだ。武器がたくさんありや戰爭が出來ると思ふのはアメリカ流の考へ方さ、馬鹿でも千人よれば一人の利口より偉くなるのがアメリカさ、何かと言へば、數で脅かして、第一相手が數を知らなかつたらどうするんだい」

「ありもしねえくせに大きなのたことつくねえ、何と言つてもたくさんあることに間違ひはない」

「さうでせうとも、ストライキもたくさんあつた方がおためでせうね」

「うぬ」

「ざまあみろい。敵は太平洋ばかりじやないんだぜ。敵は先づアメリカに居る」

「あれしきのことで愕くアメリカじやねえ。ルーズベルトと言ふ男はあんなものに愕きやしねえよ」

「愕きあしないが、參つてるね。とも角ここへ來てお前さんの國はどうやら二つに割れて來さうだ、二つはやがて四つとなり、四つはやがて八つとなり、八つはやがてヤンキ ヤンキと讃へられたつて、ほらアメリカの好きな大統領になれるんだよ。ヘツヘツヘ」

「全くイギリスと言ふ奴は氣に喰はねえ」

「氣に喰はねえのさ、どうして一緒に戰爭してるんだよ」

「可哀想だからよ。何とかしてもとの英國にしてやりたいと思つてね」

「古い手だよ。その手はイギリスが散々つかつた手さ。そんな手は宋美齡にでも喰はせたらいいだらうよ」

「宋美齡！　いやあいつには弱つた。アメリカ建國以來、議會で泣いたのは、あいつが始めてだ。女房なんてものに言はせるのは酒屋の借金のいひわけか、店賃の斷りぐらいがいい所さ。重慶もいよいよおしまひだね」

「今のうちはまだいい方さ。これでアメリカがペチャンコになれば宋一家は全くの一文無し、財産と言ふ財産はみんなアメリカの銀行にある始末ではね」

「さうだともこれでアメリカが駄目になれば、……やいこの老いぼれめくだらんことを言はせるな」

「心理は既に敗戰途上に動いとるね。とも角戰爭と言ふものは、一方的なものではないんだよ。こつちで鐵砲をうてば向ふでも鐵砲をうつんだ。豚小屋の豚と戰爭してるんじやない事をアメリカは知らなくちやならんね。なるほど一應反撃の態勢は整つた。ようしこれで攻めたてればと進んで行つて驚いた、こつちが反撃の態勢を用意してる間に向ふでは反撃の態勢を反撃する態勢をつくつて待つていいかねここが戰爭の難しいところさ。こつちで戰法をつくつてるのに向ふで逆手をくつてるわけがないからね」「……」

「どうだわかつたかな。だが敵にはこの理窟がわからんのさ。豚はただキヤキヤ喚んで、爪をたてて鋭らしい顔つきをするのがお定りで敵が一歩すすめば、五歩も大歩も退くものさ」

「やい、やい、やい、やい、言はしておけばいい氣になつて人のことを豚だと豚かしやがる、それなや一體てめえ達イギリスは何だと言ふんだ。アメリカが豚ならさしづめおめえは豚にたかつてる毛蝨」「とんでもない、毛じらみとは失禮千萬」

「慌てなさんな、毛じらみとは言はんよ」「そ、さうでせうとも」

「毛じらみじやねえが、毛じらみにたかつてる蚤みたいなものさ。自分じや何にも出來ない、無力なものさ」

「おい、神様」「なんだい」

「お前さんを呼んだんじやないんだ」「だがね、お氣の毒なイギリスさんよ。お前さんを救ふ神様はこの廣い天國に唯一人より居ないんだよ」

「救ふ神様だつて。アメリカはイギリスを救ふ神様でなく喰ふ神様だ」

「つべこべ言はずについて來い。この死に損い」そして米國の神様はかうつぶやいた。

「何もかにもこいつの言ふ通りだ」

雲が出て來て天國はかくれた。

南方百話

廣東 昭南 ジャワの記

徳川夢聲
松井翠聲
横山隆一
清水崑

横山　徳川さんは南方に行かれたし、翠聲さんも南方から歸つて來られた。僕も行つて來た。崑ちやんも廣東に行つて來た。

徳川　すると、南方面白話だね。

横山　翠聲さん、何か話してくださいよ。

徳川　船中綺談はなかつたかね。

松井　飛行機ですもの。

徳川　空中綺談は。

松井　なかつたですね。あなたは何處を廻られたですか。

徳川　廻らないよ。病院を廻つたきりだ。病院の廊下を廻つたよ、いや、それでもクアラ・ルンプール、セレンバン、クルアンといふ處までは行つた。他の一行はビルマまで。

横山　（横山氏、寫眞帖を出して……）僕らかういふ豪奢な生活してゐたんですよ、見てください。これが邸宅、これが邸宅の廊下です。

徳川　ほう、立派なもんですナ。

松井　寫眞で見るといゝですがね實はお粗末なもんです、天井はアンペラが張つてあつたり……

徳川　さういへば、ひとつ清水君に訊きたいと思つてゐたんですが、僕らの苦樂座で「怪談宋公館」を脚色して演つてみたいと思つてるんですよ。ラジオでは三度もやつてるし……。

清水　毎年夏になるとやつてますね。實はもう宋公館には化物は出なくなつた。といふのは幽靈のはうで引越して了つたらしいんです。現在では葦平さんがゐられた頃とは全然別な、衛生隊かなにかの根城になつてるさうで、支那の姑娘の中から優秀なのを募集しまして、日本語をうんと仕込んで優秀な看護婦に仕立てまして、街頭に出してね、コレラの注射なんか非常にうまくやるんですよ。さういふ科學的な仕事が始まつたんで、どうも居心地が惡くなつたと見えて

徳川　それは面白いナ。

清水　ところがそれから四五町離れた處に、電信の部隊とかがあるさうだが、どうも其處へ越したらしい。そこで時々見舞はれる兵隊が現はれるんださうですが、最初の處に出なくなつたといふのは、廣東主席の陳耀祖の邸宅がその近所にあるんです。國民政府が出來てから急に交通が頻繁になり、賑やかになり、一躍明るみに出された。それで出なくなつたらしいといふ話なんですがね。

徳川　張合ひがなくなつたといふ譯ですナ——。

徳川　兵隊が一向驚かないのでお化けが草臥れたりするのは面白いね、お化がいろ〳〵やるが、兵隊は知らぬ顔をしてる、いくら努力しても駄目。お化けが手を替へ品を替へてやるが效き目がない、終ひに草臥れて、お化の會議を開いて、相談の上で引越してしまふ——といふのはどうだらう。

横山　一番お終ひにお化が白旗を掲げてやつて來たり。

松井　お茶を持つて來る支那人のボーイなんか非常に驚くが、兵隊は何であるかといふやうな顔してる——。

清水　事實、支那人のボーイなんか幽靈のことは内緒にして雇入れたのに一週間もすると、必ずまつ靑な顔になつてお暇をくださいと申し出て來るんださうです。

徳川　からだ中つねられて紫色の痕が殘つてるといふのは事實ですか。脚色ですか。

清水　いつたい葦平さんといふ人のものは、どこまでが事實で、どこから先が脚色か、作品としてロマンテイックに間然するところがなくて、けぢめがつきませんからね。しかし、あの中に出て來る金子といふ軍曹は非常に元氣のいゝ九州男兒ですが、その人が、本當だと言つてゐました。僕もそれまで幽靈のゐることなんか信用してなかつたけれども、これやあヒヨッとしたらほんとにゐるのかも知れないぞといふやうな氣持になりましたね。

横山　崑も一つの意見を持つてゐなければ——君もあの中に出て來るんだからナ。

清水　映畫になるといふ話もききましたが。

徳川　お化けの引越しは面白いナ　それから一つのお化けが出るんぢやなく、お化の演出者があつて、人に依つて別々のお化が出る、お前は夢聲の所に行け、お前は翠聲の所に出ろ、と指圖する。專ら係々があつて專門に出る——といふのは今までの怪談にはないよ。

松井　さうですね。今までは誰にでも同じやつですものね……。

清水　さうして宋公館には幽靈が十二三人ゐたらしいナ。

徳川　お化けがね。

清水　しかも男女ごつちやに棲んでゐる。足はあるんですが、葦平さんが見たのは顎のない奴だつたさうです。何か黑い大きな布でもひつ被つた感じでのそ〳〵歩いて行くんだつて……。

徳川　葦平だから足があるんだね

清水　中でもあの「金を貸せ」と言ふところは面白いですね。初めは「金を貸して下さい、金を貸して下さい」と叮嚀な言葉でせがむでせう、それがどうあつても、「貸さぬ」と頑張ると、終ひには「金を貸して下さい、頼みます」……。葦平さんといふ人はユーモア物の巧い人ですね。

松井　化物屋敷はジヤワにもありましたね。バリーの天邊にキンタマニーといふ山があつて、僕が行つた時、どの部屋にお化けが出るか探したんですよ。ところが幾ら親父に訊いても、オロ〳〵するばかりで言はないですよ。それからボーイがゐましたから、お前昔からこゝにゐるかと言つたら、ゐると言つたので

訊いてみたけれども言はぬ。そつと金を掴ませたら、とにかく表に出て呉れ。そして右側の空地へ連れて行つた。實は此處にあつたところが、來る人〳〵お化けの話ばかりするものだから家を燬いちやつた、だから今はお化屋敷はない。若しこの跡に建てれば出るだらう、だから建てない——といふことを敎へて呉れました。

徳川　よつぽどその土地に執着してるお化けだね。

松井　地附きのお化けですね。

松井　パリーでは自分の土地を賣るといふのは、一番いけないことになつてるんです。それでお化けのはうも、それが傳統なんですね。

清水　あの宋公館の幽靈は、廣東よりも内地の方で有名になつたね。

徳川　僕はラジオで海外放送しましたよ、アメリカ向けで。だからアメリカまで知れてますよ。

横山　嵐ちやんがその度に出て來るんだからね。「それはひどい蚊だ」と言つてピシヤッと叩くところがある。

徳川　あの繪は凄いですね、大衆文藝の……。

清水　あれは凸版が潰れたのでいよ〳〵氣味の惡い繪になりました。

徳川　なんだか蚊帳の外にお化けがゐたりして、不氣味なものになつてゐましたよ。

松井　幽靈は大抵足がないでせう。外國のは足のあるのがありますね。

清水　外國の奴はあるといふ話ですね。

松井　大體はないんですよ、あつても見えないんです。滿洲に幽靈聯隊といふのがあつたんです。この前の歐洲大戰の時です。滿洲から歐洲の聯合軍の方へ行つてるわけです。三年の間、キチン〳〵と、月給から被服から全部請求書が來てゐた。ところが實はそんな聯隊はどこにもない一人の野郎がすつかり着服してゐた。どうして分つたかといふと、帽子も被服も月給も請求して來たけれども、不思議なことに靴だけ請求して來ない、これはをかしいといふので調べてみると、そんな聯隊はない。つまり幽靈聯隊ですナ。

徳川　ほほう、靴から足がついたわけですナ。

松井　事實ですよ、滿洲の捕虜から聞いたんですがね。どうしてまた靴だけ忘れたんですかね。

徳川　幽靈だから。

松井　こんど僕らずつと南の方を廻つたけれども、文化的に何も収穫がないですね。本を探したけれどもないしね。

徳川　本は昭南にもないね。

松井　とにかく米英の搾取してる處は、文化程度が低いですね。

徳川　どうして本を讀ませなかつたのかね。

松井　いゝ本は全然讀ませなかつたんですね。

横山　田舍に行くと、みんな貸本なんですよ、賣るかと言つたら賣らないと言ふ。

松井　へんなカバーが掛けてあつてね。町にもあつたよ。

横山　それもアメリカの探偵小説なんかですね。出るのは。機械のものとか、高尚な文藝的なものは希望者が少いさうです。

松井　オランダの一番大きい本屋でコルフといふのがあるんですこれは○○○で、○○○など刷らしてる所です。それからもう一つはフイッサール。この二つに行つてみても大英百科全書なんか新しいのは一つもない。それ位の状況です。

清水　この間ビルマから歸つて來た漫画家が言つてゐましたけどね、宣傳用に画家を使ふでせう中に油繪などよく描くのがゐるさうですが、世界的に著名な画家の名前を言つても知らないさうです。

横山　本屋に行つて、お前の所にレンブラントの本ないか、と言つたつて解らない。自分の國の人だのに。

松井　レンブラントといへば、面白いのは、ペンキ屋がゐたんですよ。初め、繪看板を塗りつぶす人間が要るので、松井はお喋りだから、行つたら判るだらうといふんで、私が支那町に探しに行つたんです。さうしたら、レンブラントがゐる、と言ふんだ。そんな偉い画家がゐる筈がない、何を言つてるのかと思つて行つてみたら、電車通のペンキ屋なんだよ。

横山　あのあんちやんがまた大變な奴でね。

松井　暫く休むと、すぐゐなくなる、何處へ行つて來たかと調べてみたら、遊園地へ行つて歌を唄つてる。なぜそんなことをするかと言つたら食つて行けないから、内職に行くんだ……大變な奴ですよ。それは上陸以來ずつと從軍してるんですがね。

徳川　さういふのはやつぱりあるんだね、セレンバンにダンスホールがある。これは日本人は行つていけない處ですが、見學だけはいゝんです。ダンスしてるのは專ら華僑だね。そこでダンスの先生してる奴がゐるんですよ、これが非常に文化工作に協力してるわけです。ところがその晩拳鬪を觀に行つたら、なんとかパウンドとか言つてるのがやつぱりそいつなんだよ。

松井　それぢや相當の心得があるんですね。さういふあんちやんがゐるんですね。

徳川　なか〳〵男つぷりの好いマライ人でしてね。それが「曉に祈る」とか、いろんな日本の軍歌を編曲してやつてるんです。

松井　ジヤワに入つて、何か良い繪があつたらと思つて探したんですが、一つもない。贋物ばかり。それも氣のきいた複寫なんかはない。お湯屋に描いてあるペンキ繪のやうなやつです。麥なんかでも一粒々々描いてあるやうな、そして必ず富士山みたいな山があるんです。そんな繪しかない。

徳川　さういふ點は低いですナ。猫が金魚鉢をひつくり返してる繪ぐらゐしかない。それからカトリックの信者に賣りつける繪ですが之には面白いのがあるのですよグロなのもある。首をちよん斬られてる所とか、磔刑になつてる所とか。お釋迦さんの誕生の繪なんかでも、日本の佛画と違つて、面白いのがたくさんありますよ。

松井　ジヤワにもありました。

徳川　化物みたいのが盛んに出て來る。

松井　地獄極樂の圖なんか、針の山からずつと物語式に次々と描いて一つの繪になつてるのがありますね。

横山　猫が金魚鉢をひつくり返してる繪、と言ふと適切ですね、ほんとにさうですね。黒い猫と白い猫がゐてね。

徳川　インド敎のお寺が昭南の支那町にあるんです。犬だのいろんな動物を積み上げた塔があつて中に入つて見ると、額がたくさんあつて、みんな禮拜してる。見ると、佛様に六本手が生えてる。それから蛇を持つてゐたり劍を持つてゐたり、その下に首をちよん斬られた死骸があつて首から血が川みたいに流れてる繪とかね。それが拙劣なんですよ。

横山　バンコクにワットプラケオといふお寺があつて、そこに壁画がありますが、新しくて稚拙ですが、あれで何百年とか何千年とか經つたら古びていゝかも知れませんね。

徳川　しかし大同の石佛とか、アンコールトムの石彫とか、古いけれども或る部分には完璧のものがあるでせう。だから南方の民族も、文化の頂天に於いてはそこまで行つたんでせうね。それが今退歩しちやつたんですね。

松井　寢てるお釋迦様を拵へて頭にネオンサインなどつけたりするんですからね。

横山　しかし、技術は下手だけれども、子供が無心に描いた童画で、やつぱり完璧だといふ繪がありませう、あれに似たのがありますよ、手なんかやたらに長いけれども、それでゐてちつともをかしくないね。大人の描いた童画みたいなものですね。

徳川　それはこつちに心の準備があるからでせう。

松井　向ふの奴が見たら、さういふふうには感じないと思ふナ。

清水　美術品でなく、土產物とい

感じですね。

　それが多いですね。だから画がないでせう。漫画に描いたら、それを當り前に見てしまふものね。誇張して描くなんといふことを知らないでせう。

清水　徳川さんの今度行かれたのは、觀察ですか。

徳川　いや、慰問なんです。放送局から派遣された慰問團の一員なんです。ですから、慰問は全然しなかつたかといふと、さうぢやありません、昭南で六ヶ所か七ヶ所やりましたね。全體で十二三ヶ所かナ。

横山　僕は病院を廻つたりするとよく慰問團と間違へられてね、まあ繪を描いたりしてやるんです。

清水　敵前上陸した直後はよかつたでせう。

松井　よかつた。

横山　一番よかつたのは、上陸して後の一ヶ月だね。

松井　それから、小野と隆ちやんは戦線を描いてるでせう、あとは僕と大宅壮一と二人だけです。その晩になつて、バタビヤに潜入すべしといふ命令が來ました。頭髪は一遍短く刈つたんですが不精伸ばししてゐましたから、チックをつけて無理に分けて、夜、自動車で潜入です。道案内がゐない。宮澤君が日本贔屓だといふ青年を探して來た。本當はどうかわからないけれども、とにかくそれを翻譯係として自動車に乗つけて行つた。まつ暗な夜中ですよ。軍が入れば敵は必ず文化機械を破壊して行くから、その前に潜入して行つて、文化機關特に放送局を確保すべしといふわけです。それで放送局に一番乗りをしました。行つてみると、表から閉ひがしてあるんですよ。中の部屋に赤い電氣が點いてゐるのが見える。外には鐵條網みたいのが張つてある、それで僕はトラックの上からサッと中に飛び込んだ。それきり起きて來なかつた。濠の中に落つこつちやつたんですよ塀の向ふ側に濠がある、それが

見えなかつた。エイッと飛び込んだきり。片足が着陸して、片足は濠の中です。肩を貸して貰つてやつと上つた。すぐ布告を讀ませる手筈なんですが、第一の放送局は破壊されてゐて使へない。それで次の放送局に行つたんです。行つてみると、オランダ人の野郎、レコードをかけてるんです。女みたいな男の野郎が、あなた、厭だわ、といふやうな英語をやつてる、薄化粧なんかしやがつてね、そこに乗込んで行つた。早速とつ捕へて布告を讀ませることになつたんですが、オランダ語でせう、何を讀むかわからない。こつちは聞いてゐても、本當にその通りやつてるかどうかわからない。困つてしまつてね。今こつちに歸つてる宮下君が、俺が監視してるから、検閲のはうは君が探して來て呉れと言ふんだ。僕は足を折つて跛をひきながら出て行つた。丁度うまくオランダ・ナチスといふのが見つかつた、

　オランダ語が通じると言つたから、それを連れて來た。足は折るし、夜は暗いし、見られなかつたですね。しかし電車は通つてゐましたね、あれはをかしいですね。それから面白いのは、追撃中に汽車が通つて、追撃が中斷された話。まるで昔の映画ですね。どん〲追跡して行く途中で、踏切まで來ると、ポポーッといふわけで汽車が走つて行つた。戰爭のまつ最中ですよ。これには驚いたですね。こつちは怒つたですよ。さうしたら翌日は、停車場から、司令部に、本日も時間表通り汽車を動かして宜しいでありませうかッて伺ひを立てゝ來ました。いかに敵が戰爭の用意がなかつたか分りますね。バタビヤの放送局では日本軍は上陸したけれども、絶對にバタビヤには來ないと放送してゐたんです。それで上層の一部の者は情況を知つて逃げたんですが、一般市民はすつかり安心してゐたわけです。そこへドカ〲と進んで行つた。

徳川　しかし、こつちも汽車には面喰つたらうね。

松井　ボコール植物園（舊ボイテンゾルグ）まで追つかけて行つたんです。あれから先は山になるでせう。敵は道にコールタールを撒いて逃げやがつた。

横山　それから敵は、川原の蛇籠のやうなやつに石を一ぱい詰めたのを、道路の兩側に一寸した仕掛でぶら下げて置いて、自分達が其處を通つてしまふと、道路をそれで塞いでしまふ。この手をやつたですね。尤も中には、その暇もなかつたか、中途半端になつてるのも隨分多かつたですがね。

松井　それから四角い大きな材木で柵を造つてある。これは爆破する以外に通れないです。

横山　片附けるだけでも大變です

松井　道路の兩側は田圃ですからね、どうしても道路を通らなければならない。大變な苦勞ですよ。夜の明けるまで、ずつと撃ち合ひしてるんです。敵の方を見ると燃えてゐる。それが迚も綺麗なんですよ。そしてドカドカバラ〲やつてる。サーチライトを照しながらね。撃つ方も撃たれる方も實によく見えるんです。僕は、なんと考へたか、煙突の後ろに立つてゐました。

横山　あれは大きいからね。中が空つぽだといふことを忘れてゐたんですね。

松井　とにかく煙突の後ろなら大丈夫と思つたんでせうが……決死隊が夜中に上つて行きましたから、上つたかどうか見ようと上甲板に出たわけです。そして煙突の陰にかがんでをつた。その中、敵前上陸成功の合圖があがつたんです。ところが、夜が明けてみると、海はあくまで綺麗だし、木は緑、その中に赤や青の家が見える、ディスニーの漫画を見てるやうな景色なんです。そして原住民がバナナを賣りに來る。まるで嘘みたいな氣持だつた。

横山　上つた時は、金鵄のやうな紙袋に入つた六本入の煙草が二錢でしたよ。チョコレートが一錢砂糖の一寸した塊りが五錢それを齧りながら進んで行つたわけです。五十人位をつたのが、ダラ〲と間が伸びて、中には家鴨の卵を買つて呑んでるのがある、煙草を喫つてるのがある。

徳川　一人中尉の人と知合ひになりましてね。これはブキテマで彈を受けて、千人針の五錢白銅に破片がぶつかつて助かつたり一度は革の鞄に紙を五十枚ばかり入れて置いたのに當つて助かつたり、なんでも三度彈にぶつかつて助かつてる人なんだ。この人がブキテマで病院があつてその方に行つたら、コーヒーが落つこつてゐたんださうです。するとどうにもコーヒーが飲みたくなつた。ひとつコーヒーを飲まうぢやないか。病院だから、アルコール・ランプ位はあるだらう、それで沸して飲まうぢやないか。やりませう、といふんで病院の方に這つて行く。少しでも動くと、パッと射つて來る。それでもやつと沸かした熱すぎて飲めない。ダダッと射つて來る。すると、コーヒーを片手に持つて彈をよけ歩いたといふんですよ。コーヒー茶碗だけは決して放さなかつたつて言つてゐました。

徳川　行きも歸へりも船は日沒と共に消燈だからすつかり退屈しちやつてね。本は讀めないし、みんなで勝手な話をしたんではうるさいし、それで映画の話も出ましたが、その他いろんなことをやりました。銀座の尾張町の角のビヤホールから新橋のカフエーの所まで、順に店の名を言ひつこするんです。ビヤホールの隣りは鳩居堂だ。いや、その手前に一つなんとかがあつた今はそれが無くなつたといふやうなわけでね。なか〲退屈しないです。新橋までやると相當時間がかゝるですよ。それからまた戻つてライオンから向側をやるんです。次に服部から京橋まで、それから三越から京橋まででやるでせう。隨分もつですよ。もう一つは、地理の試驗みたいになつて來るですが、青森縣から山口縣までの國の名前を順に言ひつこする。それが濟むと産物の言ひつこ。それから東京驛から京都までの驛の名前、あれは一つづゝは覺えてませんよ。

なか／＼變な線がある。次に線路の支線、何驛から身延山行が出るとか、大津驛から何が出るとか、内田榮一はこれを實によく知つてるんだ。それから、次は日比谷公園の案内の書ひつこ何々門から入つて右手に土手があつて石垣がある。あすこに池があつてペリカンがゐて、眞つすぐ行くと事務所がある。ちよつと右に行くと花壇があつて、そこにはなんの花が植つてゐてといふやうな調子です。次に上野公園、これはなか／＼面白いです。

松井　はつきり覺えてる人はゐないでせうね。

徳川　それがたくさんゐると、お互ひに訂正したりしてだん／＼わかつて行くんです。

横山　今嶋居堂のそばに町會事務所があるんです。

徳川　今日東京驛で電車を下りて鹿兒島行といふ札を初めて見ましたよ。ちよつと驚いたですね。海底トンネルが開通したことは知つてるけれども、鹿兒島行といふ汽車は始めて見た。

清水　この間南方へ行く或る先輩の歡送會のとき、テーブルスピーチのお終ひのはうで、僕に名指しさせられたので、この人は内地にゐて仕事する人で、南方行なんでどうでもいゝんだ、だから絶對に無事に歸つて貰つて早くこつちで仕事して貰はなければいかん、と言ひましたが、後で考へてみると、南方へ行く人を送るのに、南方行きなぞどうでもいゝんだといふやうな言ひ方はよくないんぢやないかと考へるといまだに氣懸りでね。

横山　よくないね。いくら縁起をかつがない、迷信嫌ひの人でもやつぱり相手のことを考へてやらないとね。案外氣にするものですからね。

清水　全く、迷信嫌ひの人でも御守さんは、惡い氣持はしないものね。

松井　僕ら發つとき鎌倉の八幡様の御札を戴いて行つたんです。婦人會で拵へる腹みたいのに入れてあるんです。それで阿部君なんか、それまでは唯「有難う」と言つて、輕い氣持でポケットに入れてゐたのが、船がひつくり返つた途端に、いつの間にかそれをしつかり持つてゐたさうです。日本へ歸つたら八幡様に御禮詣りするんだと言つてゐました。愈々いけないとなると、さういふ氣持になるんですね。

徳川　やつぱり何かあるのかも知れないね。

横山　僕は發つ年の正月元旦、子供をつれてお詣りに行つた。ところが、あの公曉の出た石段のあたりまで來ると、滿員で動けない、仕方がないので子供を並べておいて一列に最敬禮をやつて歸つてしまつた。それで向ふで食物にあたつた時などは考へましたよ、あれがいけなかつたんぢやないかと思つてね。

清水　やつぱり心の奥でいつも氣にしてるんだね。普段は忘れてるけれども。

徳川　氣になつてるんだよ、本能的なものだ。

松井　俺は二年も續けて豆播きを奉仕してるから、大丈夫といふ氣がしたね。

……………

徳川　僕はね、發つ前にその頃出來た本を配つたんです。それが「わが家の過去帳」といふんです。僕は「芋蟲」といふ題にしたんですが、ふざけてるからいかないといふので、本屋の方でその中の一篇の名前をとつて、さう直してしまつたんだ。それから、子供の時分に、面白半分に大道易者に見て貰つたことがある。すると「お前は午の七赤、良くない年は四十九歳ぐらゐで、その時死ぬ、織田信長がその適例だ、織田信長ぐらゐになれば結構だが、お前はそれ程になれない」から言やがつた、丁度四十九でせう。氣になつたですよ。それから友田恭助は劇團を起しかけて、その最中に向ふに行つて散華した。僕もその頃苦樂座を起しかけてゐて、行つた。

松井　徳川さんは從軍する度に何かしら治療してるですね。

徳川　こんどは、若し紀行を出せば、三分の一は陸軍病院の紹介になるんです。

横山　戴冠式の時はどうです？

徳川　あの時も、式の當日臥てしまつてね、司令官も艦長も、大禮服で見舞つて呉れましたよ。

よくジャラン・ブッサールに行くなんて言ひましたが、あれはどういふ意味ですか。

松井　つまり大道市場といふことから來たんですね。恰度銀座といふやうなもので、新開地の賑やかな所なんか、やつぱりジャラン・ブッサールなんですね。

徳川　それからセレンバンで見たマライ人の日本芝居は面白かつたね。日本の着物を着て、全然巧いですよ。芝居は、兵隊など出る所は、軍から日本刀を借りて來てそれを吊つてるんですよ。言葉はマライ語ですが、日本の芝居で、なか／＼巧いもんです。

横山　向ふの原住民は芝居氣が多いんです。こちらで原作を拵へてやると、一回の本讀みで途端にやりますからナ。驚いたですよ。書いた本を一回こちらで説明して讀んでやるんです。みんな集まつて頸を出して聽いてる。それからすぐ始まる。なんとかかんとか、すると兩方から出て來てやり出す。それが本にない

濕布薬
製法特許
ビスメン
痛み・はれ・熱を短時間に取る
副作用なく
効果迅速
薬價至廉
五十錢・一圓
一圓八十錢
東京神田　大木合名會社

胃腸疾患は
スプランチンワイス錠
製法特許の活性珪酸アルミニウムを主劑とせる制酸吸着劑なり
中村滝製薬株式會社
東京・日本橋・本町三

水虫の水浴療法劑
ミズム
水虫の治療は
評判の水浴療法に限ります

キヤグまで附加へて、どやつてのけるですよ。

徳川 見物とふざけるさうで。それから見物はまた物を擲つたり

松井 あれは道化があるんですよ

徳川 道化が芝居をしながら拾ふすると名探偵がピストルを突つけて食べてしまつたり。これが大喝采。

松井 ジャワでもさうです。「なんとアメリカは賑いではないか！」と言ふやうな所では、煙草を買ふんですよ。

横山 プリンセンパークに老人の俳優がゐた。歯が抜けたやうなお爺さんだけれども、これが俄然名優でね、それが一座を率ゐてやつてるんですが、芝居も實に練れててね。僕たち後で話して見ても、日本人の風格のある人とあまり變らんですよ。

松井 大體ジャワの芝居といふのは、臺本がないんです。昔からの芝居は口傳へなんですよ。

徳川 あゝ、さうか、口立てといふやつだね。

松井 だからその時によつて、長くなつたり短くなつたりする。受けると長くなる、次の場面は神様の出る場面、オランダ人が出る場面といふ大雜把なところしか決まつてゐない。

徳川 それは本式のマライ芝居なんだよ。ところが昭南などでやつてるのはオーケストラらしいんです。それから幕間に、向ふの歌手が出て來て「愛馬進軍歌」なんか歌ふんですよ。芝居とは全然關係がないんですナ。

横山 田舎の旅役者の一座ですがあつちの村、こつちの村と廻つてるんです。それと私が旅行してる間あちこちでぶつかつたんです。すると向ふも愛嬌を覺えると見えて、よく、日本のトアン來て見れといふので遊びに行きましたが、しみじみとしたやうでした。

松井 ソロの王様の宮殿を必ず樂屋に飾つてる。

横山 スリンといふ女の巧い一座がゐた。悲劇でね。三日に亘つてやるんです。今までは夜明けまでやつてゐたのでせう、それが十二時以後はいかんといふことになつたので、三日間ぶつ續けです。それを僕たち見に行つた。大變な悲劇ですよ。全部狂人になつて終るといふやうな、なかなかいいものだつた。

松井 十二時頃になると、道化役が出て來て、残念ながら……といふやうなことを言つて、それで打出しです。狂言廻しは道化役なんですね。敵にも二人ゐる味方にも二人ゐる、それが出て來て狂言を廻してるんです。

徳川 それがクラシックなんだ。

横山 ところが全然新しい近代物がある。ハワイの娘が出て來たり……。

松井 それは途中に歌のあるやつだ。本當のコスチューム・プレイは今いつたやうなやつです。

徳川 インド劇といふのがあつたけれども、あれは宗教劇だらうね。

松井 さうです。ジャワの昔のはさうです。

横山 宗教が入つてゐますね、昔のは。

松井 ジャワの昔のものはラーマヤーナですもの神様の怒りにふれて火山が破裂して街乗りになつたりするんですよ。

徳川 「西遊記」を見たからね、僕は。

松井 さうですか。本當の支那人の？ なかなかいいものですね

徳川 背景が時々變つてね。

松井 はう、背景があるんですか

横山 マランで見たのは、船の難破する所ですがね、布が三段に張つてあつて、それを動かすと本當に波に見える。大芝居ですよ。なかなかリアルでね。立廻りもリアルで、決して一ぺんに相手をやつつけるといふことがない。パッとやる、相手は額を押へてパッとやる倒れるといふやうな簡單なのはないですよ。

松井 琉球の唐手が多いですよ、あの立廻りは。

横山 足でポンと蹴ると、遠くの方にゐる相手がパッともんどりうつて倒れたり……。

横山 僕たちは前の方の席に入れて貰れるからいゝけれどね。精々三列か五列しか科白は聞えないですよ。

徳川 その代り五錢だ。

松井 初め、五時頃からみんな舞臺に出て、舞踊をやるんです。

徳川 三歩出て三歩退るといふやうな踊りですね。

松井 えゝ。原住民はそれを見てこの一座は何人位をるナ、これは面白さうだ、ひとつ見ようか——それから家に歸つて、飯を食つて、着替へをして見に來る本當に始まるのが十二時頃、そして朝の四時頃まで續くんです

徳川 ジャラン・パッサールで人形芝居を見たんですがね、長い巡禮の物語か何かやつてるらしいんですよ、時々足を曲げ、首が動くだけで、ちつともそれ以上は動かんです。いつまで經つても物語つてるんだね。

松井 それから面白いのは紙芝居ね、あれが一番です。普通のテーブルの二倍位の高さの箱に、桐の板の長箱が入つてるんです

清水 よほど大きいですか。

松井 大きいです。三尺位あるでせう。見物してる子供と同じ位の高さです。一番初めに場面の景色が出る、森があつて、虎とか何かがゐる。すると、その場面は森と心得るといふわけです

心臓強化に「救心」
「ア、忙がしい！身体が幾つあつても足らんワイ」といふ方は
二円より薬店にあり　東京　救心本舗

油断すれば脳溢血で倒れる
手足しびれ痛み、小用近く
頭重、不眠、耳鳴、舌もつれに
最新血壓中樞（急所）に特殊ホルモン
學說注入療法とは？
ここが急所
高血壓中風に

★★★
三星ゑのぐ
東京 合名會社 三星繪具製造所
京城新吉町 朝鮮三星繪具株式會社

助手をたの方に渡く。するとオッさんは足に鐙を附けてゐて、その長靴をチャカ／＼鳴らして足で長持を蹴りつける、そして次の人間に渡すんですよ。サッと明りの前に出すんです。なんとかかんとかチャカ／＼、ボンとやると一枚片づく。助手が次のやつを渡すといふわけです。

横山　それから面白いのは、いつかラジオで放送させたさうですがその時友人が金をやつた。さうしたらマイクロホンを前に置いて芝居をやつてる最中に「こんなに多額に戴きまして有難うございました」と言ふんです。

松井　無邪氣なもんです。僕は、王室の音樂團があるでせう、あそこで影繪を見せて貰つた。あれは民間にないですよ。人形は高いですからナ、一團となるとたくさんの人形を揃へなければならない。さういふわけで、昔の御神樂と同じに、華族が持つてゐてお祭りの時に貸して呉れるわけです。なか／＼物凄いものですよ。

横山　あれは昔は月夜にやつたさうです。

松井　今、大抵椰子油で松明みたいなのを作つてやつてるんですそれから、あれは影繪の方が下席なんです。だから影繪に色が着いてるでせう。偉い人にあの方を見せてゐるわけです。身分のないやつが影繪の方を見るわけです。

徳川　透いて見えるんぢやないんですね。

松井　さう見えないです。

徳川　支那のは全然透いて見える非常に精巧だ。馬上の立廻りなんかキビ／＼してゐて物凄いくらゐです。豪傑が出て來て槍をクルクル廻したりして。

横山　僕はあれが大好きですよ。

徳川　あれには敬服したね。

松井　驚いたのは、女が一人ゐてそれが狂言の筋を述べるんですが、何十分とやつてるでせうねその間ハンドバッグの中から鏡を出して眺めて見たり、えゝなんとかと言ひながら居眠りしてゐたり……。

横山　實に行儀が惡いですよ。或る公式の場合に其の唄をきいたんですが、こつちがきちんと見てるのに、其の前で堂々とハンドバッグを開いてパタ／＼やつてる。膝を横に崩してね、

松井　煙草盆を側に置いて喫ひながらやるんです。實に氣の長いものですよ。

徳川　あなた廣東はいつ頃までをられたですか。

清水　もう三年前です。バイヤス灣の翌年ですから。

横山　ガメランはやかましいね。

松井　スリンピーだろ。本當のガメランのついてる踊りですがあれが司會者の一番初めらしいですね。初めにそれが御經を讀むんです。銅鑼かなんかドン／＼と鳴りますとお經を始める。アチャアチャヤコチャヤ／＼……ボイーン、それからボンカン／＼といふのが始まるんです。或る程度まで芝居をやると、女は休みです、古いジャワ語にインド語が入つてるやつでなんのことかわけがわからん。それもはつきり言つて呉れゝばいいけれども、いゝ加減な爺さまで、老眼鏡をかけて、ゴーンと鳴るとモチャラ／＼とやり出す。お茶なんかしやべつてる最中に呑むです。實にスローモーションです。

徳川　なにか長い布を持つてやるね。

松井　キンキラキンの衣裳を附けましてね。

横山　そして、手で帶をはねるんですよ。後足でパッとはね上げるんです。

徳川　非常に美的なものだね。それから首をなんとかするだらう

松井　繼ぎはぎみたいなものをやつてね。

横山　あれは迚もむづかしいんだよ。パリーから來たやつね。

徳川　首が外れてるやうな恰好になるんですね。

横山　子供の時からやつてますからね、巧いもんですよ。バタビヤの博物館長の娘さんが巧かつたね。

松井　さう／＼、しかし、それよりジョクヂャのあれが巧かつた小野が「顎長姫」といふんで書いてゐました。それから手の指と同じやうに、足の指まで動かすんですよ、大した藝ですね。

徳川　歌舞伎の人形振りみたいなのがあるね。

松井　手と足の指を動かすだけでほかはちつとも動かないんですよ。あとは地震がいつてるやうに少しづつ傾ぐんです。

徳川　ローリングか何かあるんだね。

松井　尤もお供物を貰ふから、飯は只なんですがね。子供なんか寢たり起きたりして、やつぱり朝まで見てるんですよ、劇場に行つて、濟んだら家に歸つて寢るといふのぢやなくて、とにかく夜中から朝までやつてるんですから、途中で睡くなつたり、退屈すれば、外に出て芝生の上に寢る、目が覺めれば又起きて見るといふわけです。暑い處は萬事暢氣ですね。蚊なんかずゐぶんゐるんですが、そんなもの平氣ですよ。生木を持つて來て燃すんです。それから鐵道に近い處では、あそこだけ高くなつてゐて涼しいでせう、だからみんな線路に行つて寢る。汽車が時間表を變へると、ずゐぶん轢死人が出來るんで、なか／＼變へられないさうです。變へる前には、何月何日から變るから、その時間は線路に寢ないで呉れと村々に觸れ廻るんです。

横山　あそこの汽車は又ばかに軒下を通るね。スレ／＼に走つてるでせう、危いですよ。ちよつと、外に出ると、軒下から汽車がポッ／＼／＼と走つて來る。一尺か二尺離れてればいゝんだが、そんなに離れてゐない。

徳川　家の中を走つてるやうなもんだね。

横山　小さな汽車ですがね。チークを焚いてね。

徳川　どういふ加減かね。

松井　いや汽車がまん中を通ると馬車の邪魔になるんですよ。

横山　どうも有難う御座いました

皮膚病
あらゆる皮膚病に滲透療法
しますぐ効きますよく効いてゐとつかぬ
皮膚　チャージ
五十錢　一圓　五圓
山崎帝國堂
東京神田

公債・社債　株式
日本證券取引所　東京市場
第一、第三種取引員
(日報贈呈)
山信商店
山田信一
東京日本橋兜町二ノ三〇
電話茅場町(66)二二七一—六番

乗物酔に
豫防專門藥
トリブラ
乘車・乘船前に本藥一球を服用すれば眩暈・嘔吐を防止する著効あり
五十錢　一圓
東京神田　大木合名會社

飛行機物語（完）

富田英三

稲妻、空の毒蛇、闘ふ鷹、雷電、アパッシエ、龍、野牛、山猫、海賊、槍騎兵……と、かうならべて來ると、何だかその昔、淺草あたりに巣喰つた不良少年、不良少女たちのよからぬ團體の名前みたいであるが、これぞ仇敵アメリカ陸海空軍用機の名稱であるのだから呆れる。

稲妻、闘鷹、雷電、龍などはいいとして、アパッシエ、野牛などは戰爭目的に正義性のないメリケン野郎的ヨタモン根性のあらはれ、毒蛇、山猫、海賊に至つては彼等の體内に流れる非人根性、泥棒根性の表現でなくてなんであらう。

「畜生！　海賊どもを叩き落しちまへッ」と、わが前線の荒鷲たちは日夜擊ちてし止まむ闘魂を燃やしてゐるのだが、山猫や海賊どもの天人ともに許さぬ非人根性に腹を立てたものはひとりわが忠勇の荒鷲ばかりではない。畜生道アメリカ國にも、かつては破邪顯正の士はあつた。曰く英雄「キングコング」である。

エゴイズムと思ひ上つた獨善根性に慢心非禮を極めたメリケン人種の土精根に鐵槌を下すはいまぞ……と、勇躍キングコング君は世界一を誇號したニューヨークはマナッタンなるデカイ建物のテッペンによじ登り、白人第一主義におごるウドン粉人種をへいげいし小癪にも襲擊して來る飛行機をさも手輕く、蚊やアブを叩きつぶすやうに擊墜してしまつたものである。しかし、叩きつぶされても、叩き落されても、腐つた畜生根性は森の石松ならねど死なねばなほらぬものである。性こりもなく今度はソロモン近海にあらはれてわが荒鷲の巨手につぶされてゐるのだ。彼ら自らが作りあげた敵「キングコング」は映画的大衆の人氣と共にその姿を消し去つたが今度の敵は必勝の無敵荒鷲「日本」である。

★

さて、稲妻、空の毒蛇、闘鷹、雷電なる名稱はかつてはP―三八、P―四〇などと呼ばれてゐたアメリカ空軍の戰闘機であるが、戰闘機はいはずもがな空中戰の花形である。空中戰といへば宙返り、反轉、急上昇、きりもみ、ありとあらゆる操縦術の極意を盡して格闘する一機討（一騎討）戰である……といはれてゐた。しかし、秘術を盡して五合、六合、空中に舞ひ上り、舞ひ下つてチャンリンチャンリンと射ち合つてゐるよりはグググッと敵機に迫り一擊、最初の一擊で勝を占めるにこしたことはない。四十八手の秘術を心得た業師よりも、一擧に力で敵手を土俵外へ押しきる闘師に軍配のあがるけふの角力と同じで戰闘機も秘術上手よりも押し……速度第一であり、業よりも力……武器が必要である。まして、重爆の速度が戰闘機の速度にまで近づいた今日では悠々と敵重爆を上から下から反覆攻擊してゐる餘裕がない。ダダッ！強力な機關銃の一連射で片づけてしまはなければ逃がしてしまふ。高速度と強力武裝へ……ライト兄弟によつて作られたやつと浮き上るだけの飛行機、第一次大戰當時ののんきな空中戰、ピストルの擊ち合ひから、遂に戰闘機は空飛ぶ彈丸へ、人が操縦する砲彈へ進歩した。

★

一九〇三年、ライト兄弟によつてなされた世界最初の發動機つき飛行機の記録は四回目にやつと二六〇米、飛行時間五九秒であつたそれが僅かに三十五年後の一九三八年、昭和十三年にはわが航研機「世界の翼」によつて一一六五一粁、六二時間二二分四九秒にまで進歩した。

機體力學の進歩、綜合金材料の發見、發動機の改良發達等がこの進歩を招來したのであるが、航空機、殊に旅客輸送機や重爆擊機にあつては遠く長距離を航續出來ることと同時に速く目的地に到着出來なければならない。航研機によつて記録された一一六五一粁も、いまなら六二時間の半分三〇時間で悠々飛べる筈である戰闘機が高速度と強力武裝によつて新しい重戰闘機を生んだやうに重爆擊機も高速度の超長距離航續機を生んだ。

いま、南北太平洋に、或は重慶にあつてわが本土をねらふ敵アメリカの重爆コンソリデーテッドB―二四型は、毎時三八三粁の速度で四六〇〇粁を飛び、二〇トンの圖體に四トンの爆彈を積み込める。

地球のあちらで闘つてゐる友邦ドイツでは、ドイツの前線基地からニューヨークまでの五五〇〇キロを樂に往復できる超重爆ハインケルHe一七七型を生んだといふ情報である。かつてはキングコングに荒らされたニューヨークがハインケルHe一七七型高性能機の爆彈雨下に叫喚阿鼻の巷と化すことであらう。そして後世歴史の一頁に殘ることであらう。

「天を摩す、無數の半壞石塔の亂立するこの無人境デルタこそは、かつて世界金權の覇者アメリカ國の毒血に繁榮せるニューヨークといふ都會のありしところなり」と

★

さて、飛行機の速度は一體どこまで速くなるのであらうか。現在の世界記録は一秒間二一〇米、空氣中を傳はる音の速度三三二米までにはまだ遠いが、音速よりも速い飛行機は望めない。口より手の方が早い……つてことは飛行機には通用しないのである。高度ではイタリアのマリオ・ペッツィ中佐の作つた一七〇八三米が陸上機での最高記録、完全な成層圏であるよく成層圏飛行といはれるが、例の「空の要塞」ボーイングB―一七型の上昇限度が一二〇〇〇米、成層圏の底で、成層圏は地上一六〇〇〇米以上である。しかし、地上六〇〇〇から九〇〇〇米の亜成層圏を飛ぶことさへも容易ではない。空氣の密度がうすくなつてガソリンの爆發力が弱つてくるし、二千、三千の高度と同じやうなプロペラのピッチでは速く進めない氣壓が違つてくれば人間のからだにも影響してくるから氣密室の必要も生れてくる。まことに、航空機科學が、あらゆる科學の綜合形態であるといはれる所以はここにあるのであらう。

軍用機の武器……機關銃も七・七ミリ級の口徑では、重爆機などの厚い防彈鋼鈑は勿論戰闘機同志でさへも相手を射ち抜くことが出來なくなつて、一二・七ミリにひろがり、機關銃だけでは一擊必墜がむつかしくなつて、三七ミリ口徑の機關砲まで搭載され出した。

性能と性能の戰爭、武裝と武裝の闘爭……これが航空戰である。といつてしまへば簡單であるが、いくら高性能、強力武裝機でも敵の十に對して一といつた數の劣勢ではどうにもならない。その昔、荒木又右衛門といふさむらひは一人で數十人の敵をたふしたといふけれど、飛道具の發達しない時代の話である。數十人の敵に對して數十人の又右衛門が立ち向つたならきつと一瞬にして「勝負アリ」……であつたことだらう。輕々と朝めし前のウォーミングアップよりも氣輕に一蹴したことであらういまの空中戰に大切なことはこの一瞬の勝利である。餘裕しやくしやくと、敵全滅、味方全機生還の完全勝利である。

質には質をもつて、量には量をもつて向へ……仇敵アメリカとイギリスを木つ葉微塵に叩きつぶす空中戰に人と物のマス・プロ……大量生産が叫ばれるのもここに原因があるのであらう。大量、大漁……腐つても鯛だと小さな鯛を小さく刻んでわけあふよりも、鯛をたくさん配給された方がからだのためにだつてよいではないか。

★

さてこそ、年産六萬の航空機生産を呼號し、百二十萬の航空機乘員を養成するのだと豪語する獨善慢心、狐つきの國アメリカ、地圖を眺めて、蜃氣のやうに太平洋を押し渡り日本空襲を夢見てゐることだらうが、ルーズベルト君、太平洋一面にU・S・AならぬS・O・Sの救命艇でもならべて諸君の生命は保證すると但書をしないことには乘員諸君も尻ごみしますよ。根がヤンキー……もともといやん氣なのぢやないか。いやそれよりも、國中の浮れ女の口紅と眉墨をまき上げてペンキ代用、でも施して神經衰弱にならぬようルーズベルト君、注意するがよい。

それ、君は迷才將ではないか。

東寶映画・滿映提携作品

演出 島津保次郎

誓ひの合唱

部隊から部隊へ
硝煙の戰場を背景に
唄ふ李香蘭の素晴し
さ！東寶映画盛夏に
贈る異色作！

李香蘭
黒川彌太郎
鳥羽陽之助
黒井洵
灰田勝彦

中村彰
生方明
清水將夫
河野秋武
戴劍秋（滿映）

撃ちてし止まむ

東京帽子

東京帽子株式會社

漫画
昭和十四年二月九日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和十八年七月廿八日印刷納本　昭和十八年八月一日發行
第十一卷　第八號　漫画　八月號
發行所　東京市神田區錦町三ノ六ノ二　合資會社　漫画社
編輯人　東京市本郷區駒込林町一七五　近藤秀藏
發行兼印刷人　東京市神田區錦町三ノ六ノ二　兒玉勳
印刷所　東京市神田區神保町二ノ一四　株式會社　關根印刷所
配給元　東京市神田區淡路町二ノ九　日本出版配給株式會社
定價三十錢　送料一錢

急性慢性化膿症

アルスフェナミン劑
アルバジル錠

急性慢性淋疾
婦人科化膿症
盲腸炎
丹毒・面疔・瘭疽
扁桃腺炎
中耳炎
齒槽膿瘍
蓄膿症

……等各科の急性慢性化膿症に對しては、アルバジルによる病原療法が推奬される。

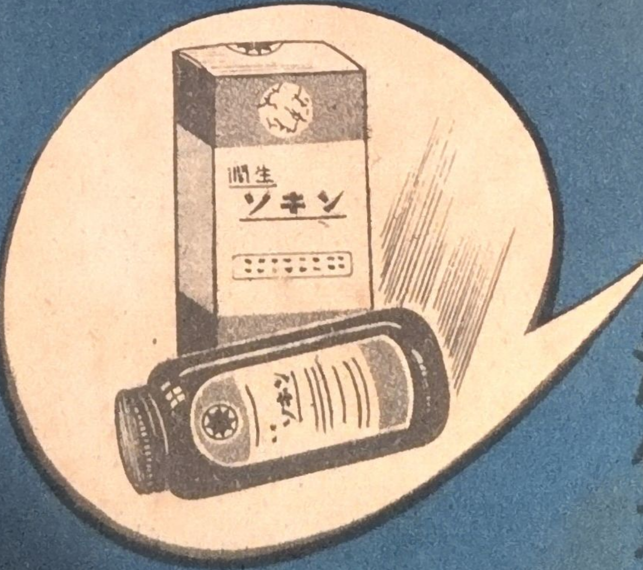
即ち、單に内服により病原菌を衝き疼痛・發赤・分泌物等の不快なる自覺症状を消退せしめ疾患を根原的に治癒す。

包裝　廿錠・五十錠・百錠
全國藥店デパートに有
文献・説明書進呈

山之内

山之内製藥株式會社
東京市日本橋區小舟町二丁目
大阪店・大阪市東區高麗橋五

急性慢性下痢
消化不良に



胃腸有効菌新製劑
潤生
專賣特許
ソキツ

有効菌の長期強生に必要なる最低量の水分を保有せしめたる潤性散劑の新發明

定價	
45瓦	1.50
100瓦	3.00
250瓦	6.00
500瓦	10.00

慢性急性胃腸疾患、下痢、便秘並腎臓炎、糖尿病、脚氣、赤痢、疫痢、コレラ、腸チブス等の患者に使用して其治療効果を促進す

製造發賣元　合資會社　保健菌化學研究所